

第5章

地区計画

1 地区区分と概況

港北区内には151の自治会町内会があります。

また、自治会町内会の連携調整や地域住民の福祉増進のため、広域的な事業を実施する地域住民組織として13の地区連合町内会があります。

※「町別世帯と人口」による。(平成27年9月末現在)

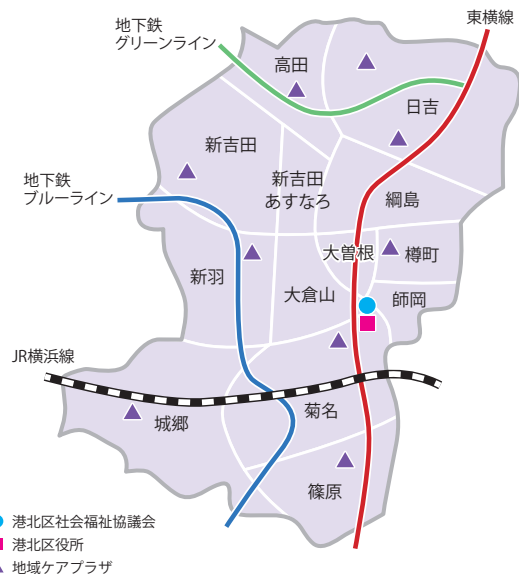
※新吉田地区と新吉田あすなる地区は、データ集計の都合で両地区の合計値を表示。

※各地区の数値は各町丁目を単位として集計していますので、一部地区については連合町内会区域と差異が生じている場合があります。

■ 地区の概況

地区	人口(人)	世帯数(世帯)	世帯人数(人/世帯)
日吉	71,461	35,322	2.02
綱島	41,597	20,430	2.04
大曽根	10,891	5,342	2.04
樽町	17,004	7,839	2.17
菊名	38,602	20,885	1.85
師岡	10,435	4,724	2.21
大倉山	25,241	11,943	2.11
篠原	40,093	19,425	2.06
城郷	23,737	11,050	2.15
新羽	13,103	6,323	2.07
新吉田	28,357	12,654	2.24
新吉田あすなる			
高田	18,161	8,499	2.14
連合区域計	338,682	164,436	2.06

■ 地区の区分



2 地区計画策定の経過

第3期計画では、第2期計画に引き続き、連合町内会エリアを単位とした13の地区ごとに住民が主体となり地区計画策定委員会を立ち上げ、地区計画を策定しています。

策定委員会には、連合町内会や自治会町内会、地域で福祉保健活動をする団体や地区社会福祉協議会の他、区役所、区社協、地域ケアプラザのサポートスタッフが参加して、計画策定に取り組みました。

● 地区計画 目次

日吉 光と活力に満ちあふれる日吉
～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～ ……39

綱島 未来へ夢 育む これからのまち 綱島 ……43

大曽根 ハートフル大曽根 ……47

樽町 思いあいのまち 樽町 ……51

菊名 みんなで支えあうまちづくり 菊名地区 ……55

師岡 わが町師岡 -未来につなげる・住みよいまちづくり- ……59

大倉山 『あいの町大倉山』-ふれあい・支えあい・助けあい- …… 63

篠原 わがまち篠原 …… 67

城郷 たすけあうまち城郷 …… 71

新羽 「和・輪・話」のまち につば …… 75

新吉田 いいな! みんなのまち 新吉田 …… 79

新吉田あすなる 明るく楽しく支えあう
ヒューマンネットワーク あすなる …… 83

高田 みんなが笑顔 助け合いのまち高田 …… 87

光と活力に満ちあふれる日吉

～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

みんな元気で笑顔であいさつするまち 日吉
 ひろめよう笑顔たやさず明るいまち 日吉
 新しいと なつかしさが繋がるまち 日吉
 みんなでたすけあい 災害をのりきるまち 日吉
 住んでよかったと思えるまち 日吉

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

区の北部にある地区です。地区内には東急東横線日吉駅、市営地下鉄グリーンラインの日吉駅、日吉本町駅があります。共同住宅に住む人の割合が多い地区です。

人口等の特徴

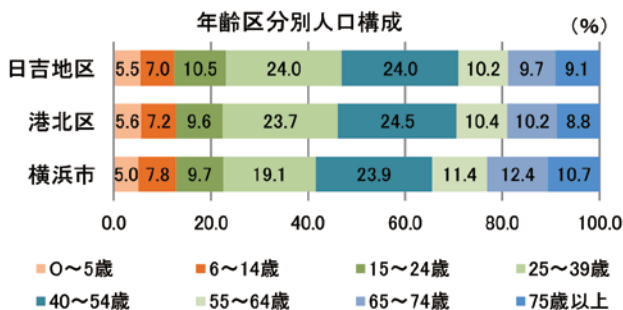
地区全体の人口、世帯数は安定し緩やかに増加していますが、近年は、地下鉄グリーンライン沿線で増加する傾向がみられ、25～49歳が多い年齢構成になっています。平均世帯人員は区の平均より少なくなっています。今後は40～44歳を中心として緩やかなピークになっている人口が順次高齢化していき、転入増加傾向により、20歳代の人口は維持されますが、30歳代の人口は減少していき40～60歳代の人口が順次増加していきます。

福祉保健活動の状況

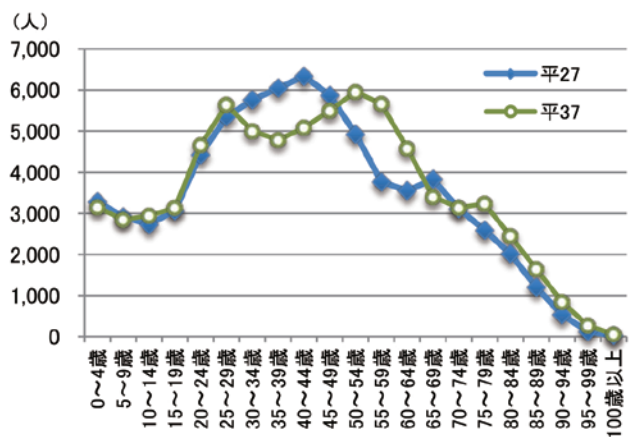
地区全体で災害時要援護者支援の活動に取り組んでいる他、5つのエリア毎に、サロンや居場所の運営、活動情報の発信、家事支援ボランティアなどの活動を行っています。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)

人口 **71,461 人**
 世帯数 **35,322 世帯**
 平均世帯人数 **2.02 人/世帯 (区平均2.06人/世帯)**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

地区内にある5つの地域ケア連絡会ごとに「防災」をテーマとして活動しています。災害時要援護者支援に関する取り組みを活動の中心とし、住民同士の顔の見える関係づくりのため、様々なサロン活動や、ホームページ・広報による情報発信などの福祉保健活動を展開しています。

また、年に1度、「光と活力 福祉実践活動発表会」にて各地区が発表することにより、取り組みの共有を行っています。

●地域の現状と課題

日吉地区には子育て世帯が多く暮らしていて、子育て支援の取り組みも活発に行われています。

地区は広大なため、日吉地区全体での共通した取り組みや共有するための工夫が必要です。また、地区活動の担い手の高齢化などが今後の課題となっています。

●今後の方向性

5地区の地域ケア連絡会の場などで、自治会町内会、関係団体・機関が協力して取り組みを進めていきます。交流サロンの活発化、災害時要援護者支援の仕組みづくり、ホームページのタイムリーな更新など既存の活動の充実を目指します。より多くの住民が日常生活の中で顔を合わせる機会を設けることで、災害時での助け合いにもつなげていきます。

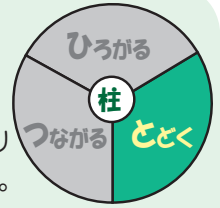
◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

5地区の地域ケア連絡会の他、自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などの関係者で構成する日吉地区「ひっとプラン港北」推進委員会を開催し、日吉地区全体の計画の進捗よく状況の確認、振り返りを行います。

◆ 具体的な取り組み

災害時に一人でも多くの人助かるよう、要援護者への支援を広げていきます

- 個人情報に配慮した災害時要援護者名簿の整備を続けます。
- 各地域ケア連絡会ごとに、自治会町内会役員や民生委員などが連携し、日頃からの見守り活動など顔の見える関係づくりを行うことにより、災害時要援護者支援の取組を進めます。
- 地域防災拠点や自治会町内会ごとの防災訓練等を通し、自助共助の意識を高めます。
- 災害時に役立つ、自分の住んでいる町を知る「まち歩き」を実施します。



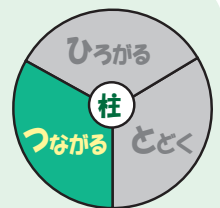
地域ぐるみで安心して子育てができる環境づくりを進めます

- 親子が集える場づくりを進めます。
 - ・子育てサロン等、親子の居場所活動を充実します。
 - ・「ポコ・ア・ポコ」等、ボランティア活動を充実します。
 - ・公園遊びの鯛ヶ崎公園等プレイパークの活動を充実します。
- 子育て支援に関わる情報の発信を継続します。
- 地区の施設との連携を進めます。
 - ・保育園と連携し、子育て世帯の交流の機会をつくれます。
 - ・学校やPTAなどと連携したイベントを開催します。



様々な世代が交流する場を充実させ、顔の見える関係づくりを進めます

- 身近な場所で交流できる場づくりを進めます。
 - ・多世代交流サロン「なかよし」、「えんがわの家 よってこ しもだ」等の活動を通じ、住民同士の交流を深めます。
 - ・「障がい児者のよりどころ ふれんど」を開催し、障がい児・者と地域が交流する場、機会を増やします。
 - ・元気づくりステーションや高齢者のサロン等の充実により、気軽に外出、交流しやすい場づくりを推進します。
- ウォーキング等の健康づくり事業の開催を通じて地域のつながりを深めます。



必要な人に必要な支援が届く仕組みづくりを進めます

- 生活課題に応じた助けあいボランティアの活動を進めていきます。
- 必要な人に支援が届くように、地域ケアプラザ等の相談機関と活動団体等が連携し取り組みます。



活動が理解され、参加につながるよう情報を発信していきます

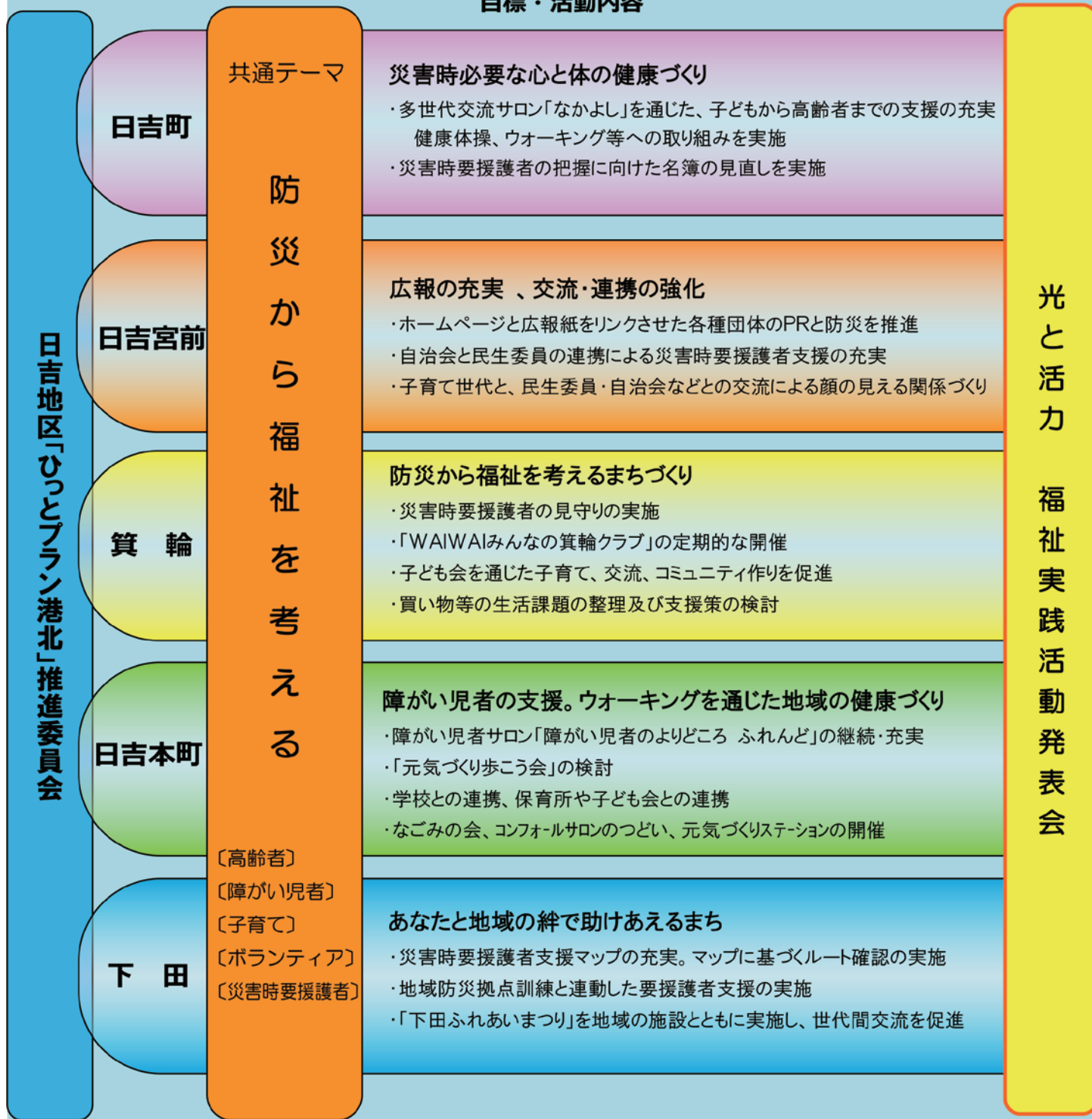
- 身近な情報を迅速に伝えることができるよう、ホームページの充実を図ります。
- 住民一人一人に確実に情報が届くよう、親しみやすい広報紙の作成をします。
- 地区の情報を積極的に発信していきます。
- 日吉地区全体が一つになり、情報共有やお互いの活動が見えやすく、福祉保健活動のネットワークづくりが推進できるよう、「光と活力 福祉実践活動発表会」の開催を継続していきます。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



5地区の地域ケア連絡会ごとの取組目標と活動内容



● 地区の活動に関する問い合わせ ●

下田地域ケアプラザ

TEL 045-563-9081 FAX 045-563-9083

日吉本町地域ケアプラザ

TEL 045-566-0360 FAX 045-566-0362

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

未来へ夢育む これからのまち 網島

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

みんなが育てあい育ちあい 愛着のあるまち 網島

だれもが元気で優しく 住みつづきたいまち 網島

防災防犯で安心安全 たすけあいのまち 網島

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

東横線沿線の共同住宅が多い住宅地です。地区の中央に綱島駅、南側は鶴見川に面しています。今後数年の間に、新綱島駅周辺の整備と企業跡地の開発が予定されており、町は大きく変わります。

人口等の特徴

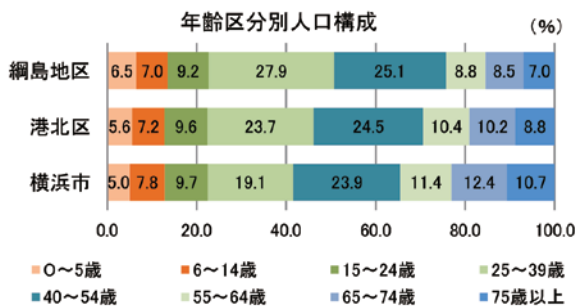
交通の便がよく、港北区の中では若い世代が多い地区です。居住歴が10年未満の人が約60%を占め、平均世帯人数は区の平均を下回っています。人口、世帯数の緩やかな増加傾向は今後も続き、特に20歳代は転入による人口の多い状態が続きます。現在の30～40歳の人口は少しずつ減少しながら高齢化していきます。

福祉保健活動の状況

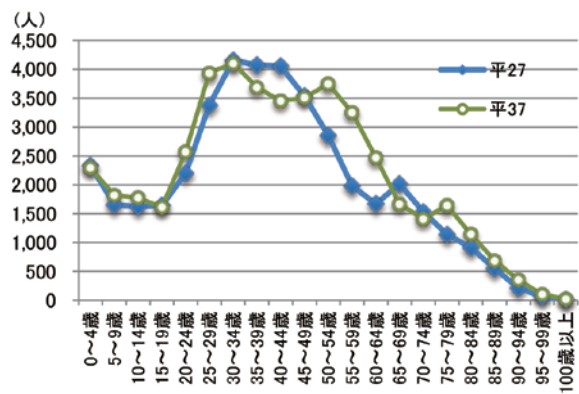
地域で多く開催される行事やイベントを通じた住民同士の交流に取り組んでいます。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)

人口 **41,597 人**
 世帯数 **20,430 世帯**
 平均世帯人数 **2.04 人/世帯 (区平均2.06人/世帯)**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

1期、2期計画を通じて、災害時要援護者支援の取り組みに力を入れてきました。それに加えて2期計画から、ホームページや広報紙による情報発信、身近な場所での交流の場（サロン）づくりに取り組んでいます。

●地域の現状と課題

交通の便の良さなどから、今後も若い世代の転入が予想される地区です。新旧を問わず多くの住民に地域とのつながりを持ってもらうことが課題です。

●今後の方向性

多くの住民に地域への愛着を感じ、活動に参加してもらうため、まちの魅力を発信し、身近な場所での交流を活発にしていきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

自治会町内会や地区社会福祉協議会、各活動団体が、計画に基づいて推進を行い、地区計画推進委員会でその状況を共有します。

地区計画推進委員会は、各活動団体や学校、施設等の代表者で構成し、地区計画の進捗よく状況の確認や振り返り、今後の方向性を検討する他、一部の事業を実施します。

◆ 具体的な取り組み

住民交流を通して顔の見える関係づくりを進めます

- 多くの住民に、行事や地域活動への参加を促します。
 - ・誰でも参加しやすい行事等にするため、運営やPR方法を工夫します。
 - ・単位町内会や周辺自治会合同の企画、イベントを充実します。
 - ・子ども会や老人会等と自治会町内会が連携を強化します。
 - ・自治会町内会、老人会や子ども会の活動を充実し、多くの住民の加入を促します。
- 身近な場所で交流できる場所を増やしていきます。
 - ・サロン（ふれあいの家、ふれあいサロン）活動を継続し、充実します。
 - ・体操やウォーキング、ラジオ体操など、健康づくり活動を通じた交流を充実します。
 - ・趣味の活動を通じた仲間づくりを進めます。



地域が子どもを見守り、子どもたちのふるさとなる地域づくりを進めます

- 子どもたちの地域行事や町を知る活動への参加を促し、地域への愛着心を高めます。
 - ・子どもの興味をひくような地域活動の企画、運営に取り組みます。
 - ・子どもが企画、活躍する行事等を検討します。
- 学校と連携して子どもと地域をつなぎます。
 - ・学校を通して、子どもや保護者への行事参加、地域理解への働きかけを行います。
 - ・学校と連携して住民交流の場（機会）をつくります。
- 子育てにやさしく、住み続けたいまちづくりを進めます。
 - ・町ぐるみで子育てを支えていくことについて、様々な機会を捉え、発信や働きかけを行います。
 - ・子育て世帯が気軽に参加できる場、機会を増やしていきます。
 - ・小さな子どもがいる世帯が参加しやすいよう行事等の運営を工夫します。



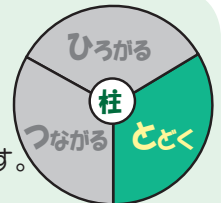
住民が地域や互いの人を理解し合い、ささえあう風土をつくります

- 地域の活動に関する情報を発信し、より多くの住民へ理解を促します。
 - ・ホームページや「網島ひっとプランニュース」などの広報を充実します。
 - ・対象者や自治会町内会の規模にあわせて、より有効な情報伝達方法を検討します。
- 支援が必要な人への理解を深め、年齢や障がいの有無に関わらず過ごせる場を増やします。
 - ・障がいや認知症などを理解する啓発講座を開催します。
 - ・障がいがあっても参加しやすい地域行事等の工夫をし、参加を促します。
 - ・障がい児者の居場所づくりや余暇支援の取り組みを検討します。



日頃の活動から支援が必要な人を把握し、支援につなげます

- 自治会ごとに災害時要援護者支援の仕組みづくりを進めます。
 - ・自治会町内会と民生委員等が情報共有する場をつくります。
 - ・隣近所と顔の見える関係をつくっていくことの大切さについて、住民の理解を深めます。
- 地域の福祉活動を通じた見守りを充実します。
 - ・交流の場づくりや福祉活動を通じた緩やかな見守りを継続します。
 - ・認知症高齢者や障がい者、子育てや介護を行っている人に対して地域でできる支援を検討します。




「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。





綱島地区のイベント・活動

誰でも参加できます！
みんなであってね！

 綱島桜まつり

 綱島桃まつり

 綱島菜の花まつり

 第九演奏会



ふれあって北綱島



スポーツフェスティバル

盆踊り大会

子どもすもう大会

子どもと 子育て中の方向け

- ☆わんぱくおぼけ大会
- ☆子どもすもう大会

子育てサロンなど

- ☆赤ちゃん会
- ☆すくすくハウス（東）
- ☆おしゃべりサロン（西）

公園遊び

- ☆公園遊びの会わくわく
- ☆公園で遊ぼう 風の子

育児サークル

- ☆きりんさんクラブ
- ☆ふしぎなTAMAGO

高齢の方向け

- ☆敬老会

サロン・お茶飲み会など

- ☆綱島東お楽しみ会
- ☆綱島つくしの会
- ☆綱島東ふれあいの家
- ☆綱島西ふれあいサロン

健康づくり・介護予防

- ☆綱島東
元気づくりステーション
- ☆はつらつ体操

日常のちょっとした 困りごと相談

- 地区社会福祉協議会の
福祉相談
於：綱島地区センター
（金曜日 10時～12時）
- 身の回りの簡単なお手伝い
綱島東ボランティアグループ
綱島西ボランティアグループ

- ★ 四季彩館
- ★ 港北根っこ会
- ★ という

障がいのある方が利用
されている施設です。詳
細は直接施設にお問い
合わせください。

イベントや活動の詳細は こちら！！



綱島連合自治会HP

<http://tsunashima-rengo.com/>

綱島連合自治会

検索

綱島ひっとプランニュース



* 各自治会町内会にも魅力的な活動がたくさんあります。ぜひご加入ください。

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

綱島地区社会福祉協議会

TEL 070-2209-2000

樽町地域ケアプラザ

TEL 045-532-2501 FAX 045-533-0025

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

ハートフル大曽根

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

いつまでも住みたいまち 大曽根

交流の盛んなまち

ささえあいのあるまち

安全、安心なまち



◆ 地区の概況

地区の概況

東横線の綱島駅と大倉山駅の中間にあり、戸建て住宅が多い住宅地です。

人口等の特徴

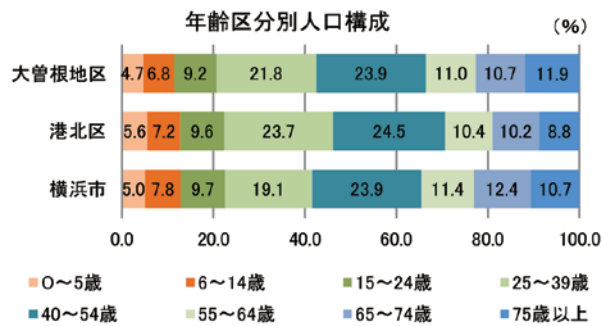
居住歴が長い人が多く、港北区の中では高齢者の割合がやや多い地区です。一方、鉄道沿線で利便性が高いこともあり若年層の転入傾向が続いていることから、20歳代後半～40歳代の世代も多く暮らしています。一人暮らしの世帯が増加し、二人暮らしの世帯と合わせて世帯数全体の2/3を占めるようになってきました。人口、世帯数は今後緩やかに減少し始め、高齢者の割合が増加していきます。

福祉保健活動の状況

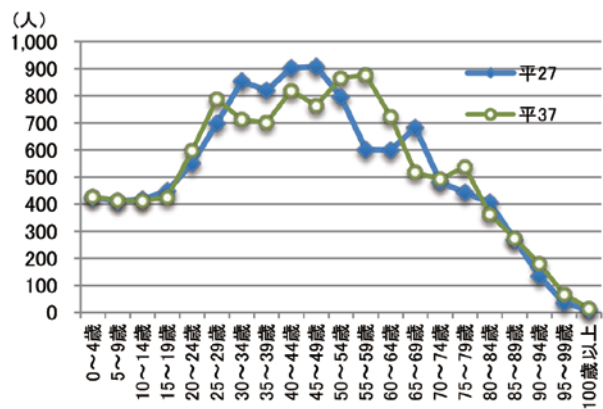
地区内には20を超える町内会があります。余暇活動を含め、多くの活動が行われており、特に老人会活動や高齢者を対象とした活動が盛んです。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)

人口 **10,891 人**
 世帯数 **5,342 世帯**
 平均世帯人数 **2.04 人/世帯 (区平均2.06人/世帯)**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

- ・「ザ・ニュース大曽根」や「イベントカレンダー」を発行し、地域の活動情報を発信しました。
- ・高齢者向けの防災袋の配布や、あんしんカードの作成、配布を行い、いざという時への備えの充実を図りました。
- ・防犯・防災の啓発、障がい理解、認知症予防などの住民向け講座を行いました。

●地域の現状と課題

一人暮らしや夫婦二人暮らしの高齢者が増えており、見守りが必要になってきています。一方で新しい住宅を中心に若い世代も増えており、新旧、異世代の住民交流が課題です。

●今後の方向性

「交流」「見守り・ささえあい」「安全・安心」をテーマに、取り組みを進めます。安心して住みやすい地域づくりのために、多くの住民の参加を期待します。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

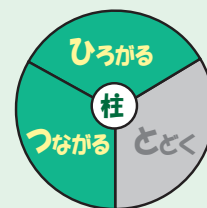
地域で活動するそれぞれの団体等が計画に基づいて取り組みを行い、「ハートフル大曽根」事業推進委員会でその状況を共有します。

ハートフル大曽根事業推進委員会は、連合自治会や地区社会福祉協議会、福祉活動団体等の代表者などで構成し、推進状況の確認、振り返りと今後の方向性の検討を行う他、一部の事業を実施します。

◆ 具体的な取り組み

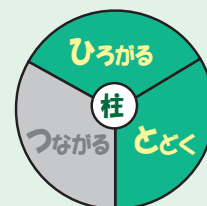
行事や活動に多くの方が参加し、交流の盛んなまちづくりを進めます

- 地域の行事や活動を住民に知らせ、多くの方の参加を促します。
 - ・「ザ・ニュース大曽根」「イベントカレンダー」などの広報を充実します。
 - ・ホームページの立ち上げを検討します。
 - ・情報発信や PR、声かけの方法を工夫します。
 - ・定年後の方や現役世代が参加しやすい活動方法を検討します。
- 身近な場所で気軽に交流のできる場をつくります。
 - ・趣味や福祉活動を通じて住民同士の交流を深めます。
 - ・地域にある施設などを活用して小さな交流会を行います。
- 異世代や新旧住民の交流の機会をつくります。
 - ・自治連合会の主催する行事に新たな方が参加しやすいような工夫をします。
 - ・学校と連携して子どもと地域のつながりをつくります。
- 地域で活動する団体同士が互いの活動について情報共有します。



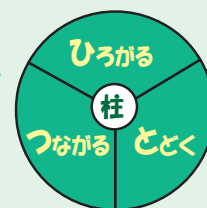
緩やかな見守りや、ささえあいのあるまちづくりを進めます

- 高齢者や障がい者等への理解を深めます。
 - ・地域住民向けの啓発講座を開催します。
- 地域での見守りやささえあいの活動を継続、充実します。
 - ・福祉活動を通じて高齢者等の緩やかな見守り活動を行います。
 - ・「ささえあいネットワークの会」の活動を充実します。
 - ・地域の困りごとに対応できる人材育成を目的にボランティア講座を開催します。



いつまでも住み続けたい、安全、安心なまちづくりを進めます

- 防犯の意識を高め、活動を充実します。
 - ・防犯パトロールや登下校の見守り活動を継続し、多くの方に参加を呼び掛けます。
 - ・地域住民向けに講座などの啓発活動を行います。
- 災害に備える活動を充実します。
 - ・地域住民の防災への意識を高めるとともに、地域と地域防災拠点（大曽根小学校）が協力、連携して防災訓練を充実させていきます。
 - ・自治会町内会、家庭防災員、民生委員が連携し、災害時の要援護者支援の取り組みを進めます。
 - ・「あんしんカード」の配布と活用に向けた啓発を継続します。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



安心・安全

防犯パトロール
地域防災拠点訓練
あんしんカード
防災・防犯講座

交流

盆踊り・健民祭
大曽根福祉まつり
ときめきコンサート
ほっとステーション大曽根
団体長会議
地域懇談会

子ども

子ども会
おおそねちびサロン
子育てサークル
ペットボトルロケット大会

生きがいづくり

棋楽会
折り紙教室
大曽根歩こう会
男の料理教室
花を楽しむ会

大曽根地区 の活動

高齢者

老人クラブ
やすらぎ昼食会
配食よつ葉会
木曜サロン（おれんじの会）
ささえあいネットワーク

まちづくり

公園清掃

スポーツ・健康

ペタンク・グランドゴルフ
ソフトボール
ソフトバレーボール
大曽根らくらく体操教室
ヨガ

情報発信

ザ・ニュース大曽根
イベントカレンダー

大曽根自治連合会

大曽根上本町会・菰西会・真菰会
大曽根中町会・中央懇話会・大曽根親交会
大曽根六地区町会・巽会・大曽根上町会
親和会・大曽根東会・大曽根本町町会
大曽根睦会・大友会・大曽根新生会
桃友会・盟友会・大曽根北部自治会
大曽根南台町内会・大曽根あけぼの会
ガーデンズ会・ドレッセ大倉山自治会

スポーツ推進委員 青少年指導員
保健活動推進員 家庭防災員

大曽根地区社会福祉協議会

民生委員・児童委員 主任児童委員

老人クラブ 子ども会

大曽根小学校 大曽根商店街

大曽根保育園 おおつな保育園

大倉山保育園

セサミ香房

消費生活推進員 環境事業推進委員

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

大曽根地区社会福祉協議会

TEL 080-7737-8994

樽町地域ケアプラザ

TEL 045-532-2501 FAX 045-533-0025

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

思いあいのまち 樽町

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

人の輪がひろがり、顔が見えるまち
 みんなが助け合い、心のふれあうまち
 明るく挨拶、声をかけあう住みよいまち

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

区の中央東側の地区で、北側は鶴見川、東側は鶴見区界、南側は師岡地区につながる丘、西側は東急東横線に接しています。従来から工場・倉庫が多くありましたが、マンションへの転換が進んでいます。樽町連合町内会は9つの自治会町内会で構成されています。

人口等の特徴

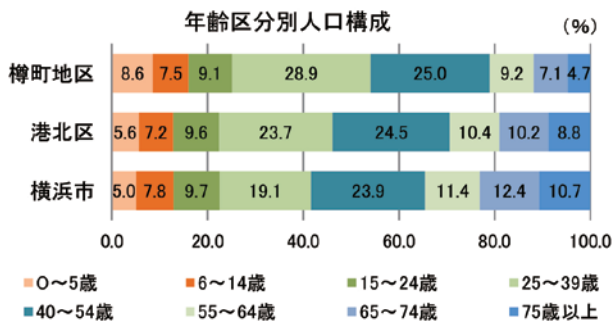
平成22年頃から人口や世帯数が増え、特に子育て世代の転入が増えています。マンションの建設により急速に増加していた人口、世帯数は今後も増加しますが、ややゆるやかな増加傾向になっていくと考えられます。現在は30歳代に大きな偏りのある人口構成になっていますが、徐々に、高齢者や年少人口も増え、年齢のバランスが取れた状態に変化していくと考えられます。

福祉保健活動の状況

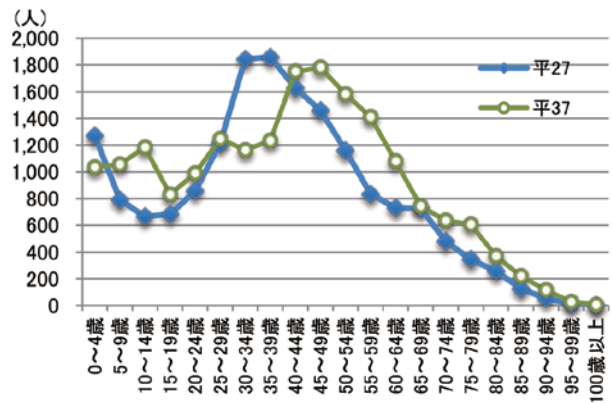
新住民が多いことから、住民相互の交流を軸に、地域活動への理解の拡大や担い手の発掘、居場所づくり、情報発信などの活動に力を入れています。樽町地域ケアプラザや親子のつどいの広場「ひだまり」があり、交流の拠点となっています。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)

人口 **16,447 人**
 世帯数 **7,587 世帯**
 平均世帯規模 **2.17 人/世帯 (区平均2.07人/世帯)**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

住民交流のきっかけとなるよう「樽町ふれあいのつどい」などのイベントを開催しました。また、地域で行われている様々な活動に関心をもっていただくためにイベントカレンダーを発行しました。

●地域の現状と課題

新しく建設されたマンションを中心に若い世帯が増えており、地域とのつながりづくりが課題です。また、若い世代が多い町ですが、支援が必要な高齢者も増えています。

●今後の方向性

樽町に住む住民が地域への愛着を高め、住民同士が顔の見える関係をつくるきっかけとなるような取り組みを引き続き進めます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

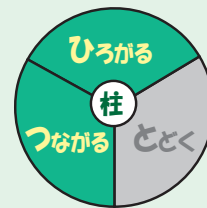
計画に基づいて各団体等が推進を行い、推進委員会でその状況を共有します。

推進委員会は、町内会や地区社会福祉協議会、福祉活動団体等の代表者で構成し、推進状況の確認を行う他、一部の事業を実施します。また、必要に応じて部会を設置します。

◆ 具体的な取り組み

住民交流を通して顔の見える関係づくりを進めます

- 地域で行われる行事を通して住民交流をより活発に行っていきます。
 - ・「樽町ふれあいのつどい」などの異世代交流行事を継続、充実します。
 - ・誰でも参加しやすい行事等の運営やPRの工夫を行います。
 - ・自治会町内会等と学校が連携し、子どもや保護者世代に活動への参加を働きかけます。
- 身近な地域で気軽に参加できる、様々な形の交流の場づくりを進めます。
 - ・既存のサロン活動を継続、充実します。
(ちびたる、ひだまり、サロンたる、みんなのキッチン、ミニ樽サロンなど)
 - ・小さなエリアごとに交流の場づくりを進めます。
 - ・体操、ウォーキングなどの健康づくり活動をきっかけに交流を深めます。



多くの方に地域や地域の活動を知ってもらい、町への愛着を深めます

- 情報の発信を継続し、より関心を持ってもらえるよう内容を充実させます。
 - ・「イベントカレンダー」の発行を継続し、内容を充実します。
 - ・ホームページの立ち上げと活用方法の検討を行います。
- 自治会町内会活動の魅力を高め、多くの住民の加入を促します。



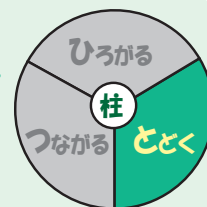
子育てや支援を必要とする人に対する理解を深め、地域で見守り支える風土づくりを進めます

- 子育て世帯と地域とのつながりをつくり、地域で子育てを支えます。
 - ・子育て世帯同士や子育て世帯と地域の交流の場、機会を充実します。
 - ・幼稚園や保育園と連携して子育て支援を進めます。
 - ・子育て世帯と地域が懇談する機会をつくります。
- 支援が必要な人への理解を深める取り組みを進めます。
 - ・障がいや認知症などへの理解啓発を進めます。
 - ・要支援者や、要支援者を支える家族の居場所づくりに取り組みます。
 - ・閉じこもりがちの方に向けて、声かけの工夫等によって参加を促します。



日頃の活動から支援が必要な人を把握し、支援につなげます

- 災害時要援護者支援の仕組みづくりを進めます。
 - ・防災組織を充実し、地域ぐるみで要援護者を支援する仕組みをつくります。
 - ・防災組織による日頃の見守り活動を推進します。
 - ・自治会町内会と民生委員等が把握する要支援者情報の一本化に向けて検討を行います。
 - ・マップを活用した要支援者情報の共有を検討します。
- 福祉活動を通じた緩やかな見守りを継続し、地域でできる支援を検討します。
 - ・民生委員や地域の福祉活動を通じて行われる見守り活動を充実します。
 - ・地域包括支援センターと地域が連携し、要支援者の把握と支援の検討を行います。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



「思いあいのまち樽町」の活動



樽町地区キャラクター「たる坊」



樽町移動動物園

お馬に揺られてどこへ行く？
動物とのふれあいは楽しいなあ！



樽町体育祭

かけっこからリレーまで。
樽中グラウンドを駆け巡ろう！



杉山神社おまつり

ワッショイ！わっしょい！
楽しい屋台もあるよ！



樽町わかば会

ご飯が進み、会話がはずむ昼食会。
お弁当の配食もやっています！

2015年		2016年	
10月		3月	
<h3>樽町 思いあい</h3> <p>イベントカレンダー</p>			
10月	10月1日	10月1日	10月1日
10月	10月15日	10月15日	10月15日
10月	10月31日	10月31日	10月31日
11月	11月1日	11月1日	11月1日
11月	11月15日	11月15日	11月15日
11月	11月31日	11月31日	11月31日

中国に「毎月開催のイベント情報」樽町中学校取材「特集記事」を掲載



みんなのキッチン

おいしいお菓子でティータイム。
三世代で楽しくおしゃべりしましょう。



ちびたる

就園前にちびたるデビュー。
子育て親子の仲間づくり！

いろいろな取組を
やっています！



ミニ樽サロン

心の病む方とご家族に。
「心休まる居場所」です！



樽町歩こう会

青空の下で健康づくり。
汗をかくのはいいことだ！



樽町ふれあいのつどい

樽町のみんな集まれ！
みんながっこいいよ。



ひだまり

就学前のみんな集まれ！
地域で子育て。

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

樽町地域ケアプラザ

TEL 045-532-2501 FAX 045-533-0025

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

みんなで支えあう まちづくり 菊名地区

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち
健康づくりと交流で元気に暮らせるまち
安全安心に暮らす環境が整うまち

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

区の中央部にある地区で、東急東横線の菊名駅を中心とする住宅地と新横浜駅周辺の商業施設等と混在する住宅地があります。公的施設、医療機関、商業施設が多く、区内でも早くから開発された地域です。東急東横線の大倉山駅、菊名駅、JR 横浜線の菊名駅と新横浜駅、市営地下鉄ブルーラインの新横浜駅が利用されています。

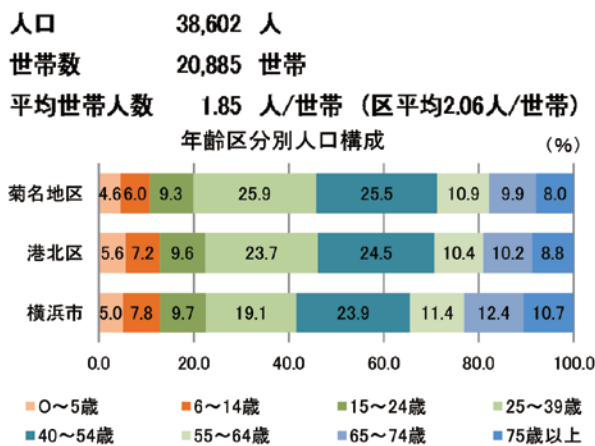
人口等の特徴

地区全体としては、人口、世帯数は緩やかに増加し、新横浜 1～3 丁目エリアで人口、世帯数が増加する傾向があります。平均世帯人員は区の平均に比べかなり少なくなっています。高齢者の増加傾向が強く、14 歳以下の人口の緩やかな減少が進みます。20 歳代の転入増加傾向が続いているため、現在は 25～49 歳が多い年齢構成になっていますが、今後は現在の年齢構成が大きく変化せずに高齢化すると考えられます。

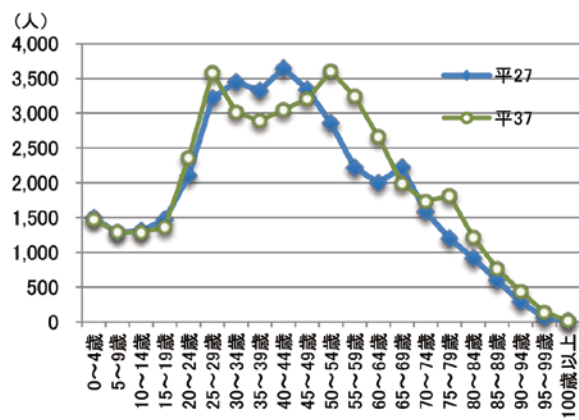
福祉保健活動の状況

特徴の異なる 3 つの地区があり、それぞれ、高齢者の見守り、障がい児者との交流、災害時の対策、子育て支援などの活動を行っています。

人口、世帯数などの状況 (平成 27 年 9 月末現在)



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

菊名地区は抱えている課題や住環境が異なることから、民生委員児童委員協議会エリアごとの3地区で取り組みを進めました。菊名北地区は「高齢者110番」の設置、大豆戸地区は障がい児者理解の啓発や見守り、篠原北地区は坂道へのベンチ設置、サロンの運営などに取り組み、それぞれの地区で高齢者や障がい児者が安心して暮らせる地区を目指しました。

●地域の現状と課題

後期高齢者を中心に増加傾向にあるため、支援の必要な高齢者が増えることが予測されます。一方でマンションが建ち、若い世代の転入者も多く住む地区でもあります。このため地区とのつながりづくりや孤立予防、介護予防、子育て支援等が課題です。

●今後の方向性

3地区の共通テーマとして高齢者がいつまでも元気に過ごすことができる活動の充実に向けて取り組みます。そして、各地区のそれぞれの特性に合わせた具体的な計画も推進していきます。

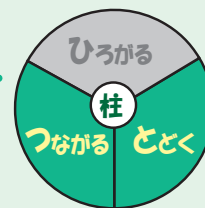
◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

3地区ごとに計画の推進と振り返りを行い、菊名地区全体としては、町内会や地区社会福祉協議会、福祉活動団体等で構成する推進委員会を定期的に開催し、3地区の事業の実施、推進状況の共有、確認等を行います。

◆ 具体的な取り組み

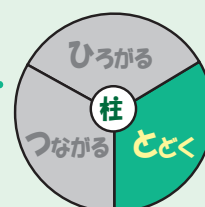
みんなが安全安心に暮らせるまちを目指します

- 日頃の見守りを推進します。
 - ・「生活安全安心メモ[※]」の内容を更新し配布することで、適切な活用に向けた確認や助言を行い、顔の見える関係づくりのきっかけとして活用します。(3地区)
 - ※「生活安全安心メモ」… 自身の名前、住所、緊急連絡先を記入、いざという時に役立つような地区情報などを記載したリーフレット
 - ・「高齢者110番」の成果の検証を定期的に行い、活動の住民理解が進み協賛者が広がるよう周知を強化していきます。(菊名北)
 - ・高齢者、障がい児者とその家族への理解、交流、支援を継続します。(大豆戸)
- 環境整備を進めます。
 - ・高齢者や小さなお子さんを持つ方も外出、散歩の途中でひと休みできるよう、坂の途中にベンチの増設や補修を行います。(現在7カ所)(篠原北)



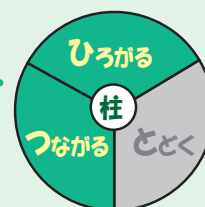
災害時に備えた取組を強化します

- 災害時要援護者支援事業の取組を進めます。(3地区)
 - ・災害時要援護者の名簿の充実を図り、日頃からの見守る仕組みを充実していきます。
- 防災訓練を通じた取組を進めます。(3地区)
 - ・防災力を高めるために、災害時の安否確認を含めた地域防災拠点訓練に取り組んでいきます。



交流を深め、元気で暮らせる町づくりを進めます

- 交流の場づくりを進めます。
 - ・イベントなどの機会を活用し、子どもから高齢者までの異世代交流を活発に行うなど、子どもたちと地域の輪を広げます。(3地区)
 - ・高齢者が定期的に交流できる場を設け、介護予防、認知症予防にもつながる活動をさらに充実していきます。(3地区)
 - ・「おでかけバス」が地区の方々に幅広く利用され、支援するボランティアも増やし、活動を広げていきます。(篠原北)
 - ・障がい者の会やその支援団体などによるチャリティバザー等を通して、交流の輪をひろげます。(3地区)
- 健康づくりを通じた取組を進めます。
 - ・介護予防、認知症予防、健康づくりへの意識が高まるよう活動に取り組みます。(3地区)
 - スクエアステップ^{※1}、スリーA^{※2}、楽しく健康体操、元気づくりステーションなど
 - ・子どもから大人まで気軽に参加できるラジオ体操を身近な場所で実施し、異世代交流や効果測定も実施します。さらにこの交流を発展させ、ウォーキング、歴史散策などにつなげていきます。(大豆戸)
 - ※1「スクエアステップ」… マスのあるシート上で一人ずつ様々なステップを踏み介護予防や認知症予防を行う。
 - ※2「スリーA」… 明るく、頭を使って、あきらめないの頭文字でスリーA。手遊びや道具を使い認知症予防を行う。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



菊名北

- ◆菊名北町町内会
- ◆大倉山喜久和会



気軽に相談できる
「高齢者110番」



盆踊り



子育て支援 「公園遊び」

大豆戸

- ◆大豆戸町内会
- ◆大倉山ハイム町内会
- ◆新横浜町内会・新横浜自治会
- ◆アデニウム新横浜自治会



防災訓練
緑と黄色のバンダナ運用訓練



高齢者と子ども
たちの交流



地域と共に打ち水大作戦

篠原北

- ◆錦が丘町内会
- ◆表谷町内会
- ◆泉ヶ丘町内会
- ◆ふじ町内会



錦が丘町内会防災訓練
(いっとき避難場所への参集
と白布安否確認訓練)



おでかけバス



ベンチでひと休み

3地区共通



敬老会



障がい者
チャリティバザー



生活安全安心メモ

上記以外にもいろいろな活動がありますよ♪

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

大豆戸地域ケアプラザ

TEL 045-432-4911 FAX 045-432-4912

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

わが町師岡

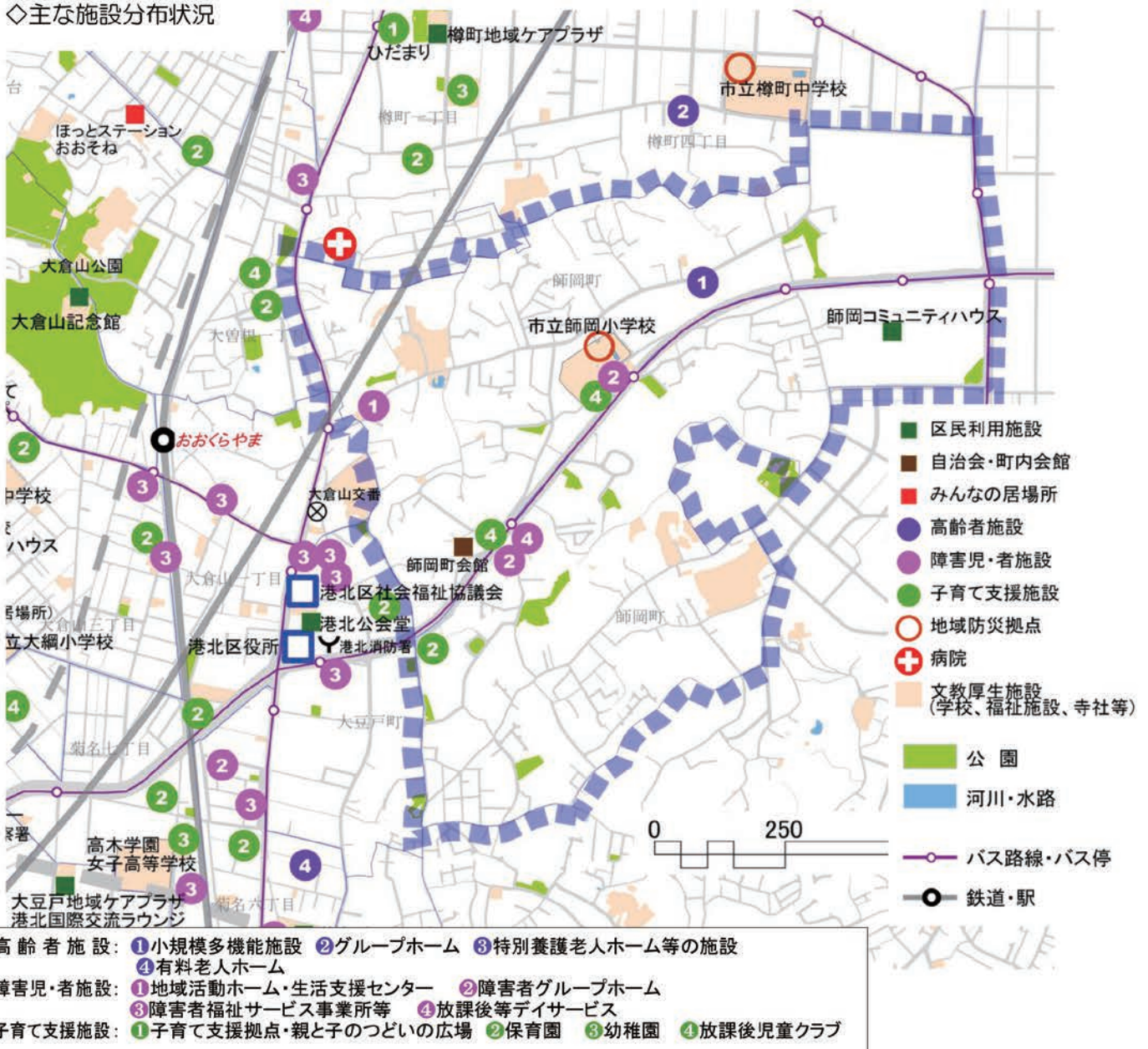
— 未来につなげる・住みよいまちづくり —

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

- ・「こんにちは」と笑顔で挨拶できるまち 師岡
- ・みんなの知恵を生かして進むまち 師岡
- ・あたたかく地域が見守る子育てのまち 師岡
- ・こまったら相談してよと言えるまち 師岡

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

区の東側中央に位置している地区で、戸建住宅に住む人が区平均と比較してやや多く、持ち家に住む世帯の比率が60%程度です。地区の北側と南側は丘になっており、地区の中央を幹線道路環状2号線が通っています。最寄りの鉄道駅は大倉山駅です。

人口等の特徴

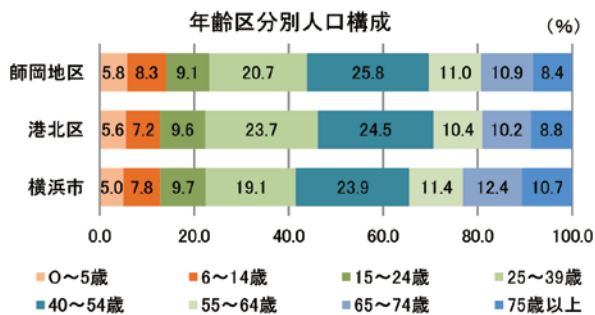
20～34歳が転入し増加する傾向が続いています。平均世帯人数が2.22人と、区の平均に比べてやや多くなっています。人口、世帯数はこれまで緩やかに増加してきましたが、今後はほぼ安定した状態になり、全体として高齢化していきます。20歳代は転入増加があるものの、30～40歳代は減少していきます。

福祉保健活動の状況

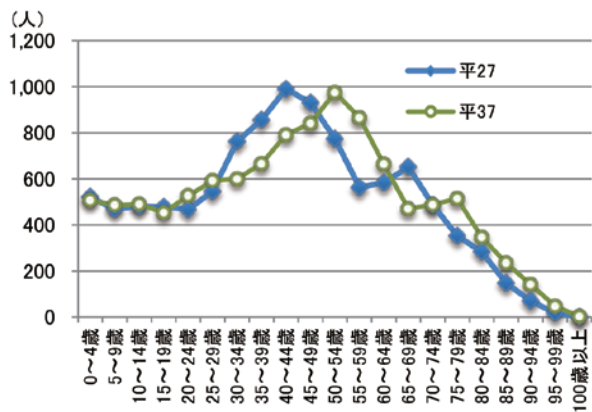
連合町内会の21の事業部をはじめ、多くの地域活動があります。地区内にトレッサ横浜と師岡コミュニティハウスがあり、連携を深めています。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)

人口 **10,435 人**
 世帯数 **4,724 世帯**
 平均世帯人数 **2.21 人/世帯 (区平均2.06人/世帯)**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

「ひろがる」「つながる」「とどく」の3つの分科会で、情報発信や災害時要援護者支援などに取り組みました。

●地域の現状と課題

地区では様々なイベントや活動が行われており、イベントには多くの住民が参加するようになっています。これらの企画や運営に関わる人を増やしていくための工夫をしていく必要があります。

●今後の方向性

これまでの取り組みは、連合町内会の事業として引き続き取り組んでいくと同時に、「ひろがる」から「ひろげる」、「つながる」から「つなげる」、「とどく」から「とどける」へと、より積極的に計画推進を行っていきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

計画に基づいて、地域の活動団体等が取り組みを進め、地区計画推進委員会において進ちよく状況の確認、振り返りと今後の方向性の検討を行います。

連合町内会と地区社会福祉協議会は、それぞれの組織団体の状況把握、意見のとりまとめを行い、計画推進に反映します。

◆ 具体的な取り組み

地域活動の魅力を高め、多くの住民の参画を促します。

- 町の活動や地域活動の情報を発信します。
 - ・ ホームページによる情報発信を充実します。
 - ・ 広報紙を発行します。
- 様々な特技を持つ方などの参加を得て、行事やイベントを活性化します。
- トレッサ横浜や師岡コミュニティハウス、樽町地域ケアプラザ、企業等との連携を強化します。



未来を担う子どもたちを町ぐるみで育みます

- 子育て世帯と地域とのつながりをつくり、子育てを地域で支えます。
 - ・ 子育てへの理解を深め、隣近所で子育てを見守ります。
 - ・ 「師岡ひまわり」等の交流の場を充実し、参加を呼びかけます。
- 子ども会への加入を促し、町内会とも連携して活動を活性化します。
- 小学生の育成を目的にした参加型のイベントを企画します。



住民交流を通して顔の見える関係をつくります

- 住民交流の場、機会を充実し、多くの方に参加を呼びかけます。
 - ・ 町内会行事や老人会、子ども会活動等の魅力を高めます。
 - ・ 「師岡ひまわり」や「女性の会」の活動を充実します。
 - ・ 趣味や環境美化、健康づくり、介護予防など多様な活動をきっかけに交流の輪を広げます
- いざという時に近隣で助け合うことの重要性についての意識を高めます。



地域のネットワークの力で支援が必要な人を見守り支えます

- 支援が必要な人への理解の輪を広げます
 - ・ 認知症や障がい等への理解啓発を進めます。
- 老人クラブ活動や、福祉活動を通して緩やかな見守りを行います。
- 町内会と民生委員が連携して見守り活動を継続していきます。
- 災害時要援護者支援の取り組みを進めます。
 - ・ 「ささえあい♥」隊への参加者を増やし、活動をより充実します。
 - ・ 防災拠点訓練とあわせて安否確認訓練を実施します。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。





もろおかちょう

師岡地区ネットワーク

私たちの町では、さまざまなグループが地域活動を行っています。また、師岡地区連合町内会には19の事業部があり、「住み良い町づくり」のために日々活動しています。活動の様子はホームページでも紹介しています。

わが町 師岡

検索

👉 クリック

民生委員児童委員

高齢者、障がい者、子育て家庭など、地域で生活する皆さんからの相談を行政に繋ぎ、支援し、よりよいサービスの提供を求めて各機関との連絡を密にした活動に努めています。

老人会／子供見守り班

ゲートボール・グランドゴルフ・囲碁将棋・俳句・カラオケ・旅行等を行い、健康・友愛・奉仕の目標に向い努めています。

家庭防災部

地域における防災活動の担い手として、防災訓練等に協力しています。

青少年指導部

次世代を担う青少年の健全育成のため、他団体と連携して活動しています。ペットボトルロケット大会、中学生のボーリング大会、自然体験教室、ひと声かけ運動等を行っています。

ジュニアーズ

環境事業推進部

「ヨコハマ3R夢！」をスタートし、限りある資源を大切に使い、脱温暖化に向け取り組んでいます。

ひまわり

「サロン師岡月曜会」高齢者の方々と、就園前の子どもとお母さん達の世代間交流の場。四季折々の行事やコンサート、読み聞かせなどを取り入れ楽しんでます

消費生活推進部

エコ活動、詐欺防止活動等、区役所や警察署と協力して、行っています。

交通／防犯部

防災訓練時には防災会・家庭防災部と連携して活動を行っています。

スポーツ推進部

町民のスポーツの実技指導や助言を行い、楽しさを伝えたり、より良い環境づくりに努めています。もちつき大会、グランドゴルフ大会、ペタンク等を行っています。

ミニバスケットボール部

防災会

防犯防災部と連携し、いっとき避難場所での訓練を支援します。

女性の会

お互いの親睦を図りつつ教養を高める事を目的に活動しています。施設見学会、新年会、講習会、講演会等を行っています。

テニス部

保健活動推進部

講師の指導を受けての「ウォーキング」活動を推進しています。

子供会

子どもたちが「明るく」「健全に」育まれるよう、お楽しみ会を開催しています。連合町内会の各行事に参加、協力しています。

ソフトボール部

広報部

わが町師岡のホームページは、いつでもどこからでも、町の出来事をアップできます

樽町中学校
師岡小学校
はまっこふれあいスクール
学童保育所
ともだちの丘

師岡地区連合町内会
師岡地区社会福祉協議会
「ひっとプラン港北」
師岡地区計画推進委員会

トレッサ横浜
コミュニティハウス

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

樽町地域ケアプラザ

TEL 045-532-2501 FAX 045-533-0025

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

『あいの町大倉山』

— ふれあい・支えあい・助けあい —

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

- ・住民一人ひとりがつながり、助けあいのできるまち 大倉山
- ・住民同士があいさつし合うことから、心を太っちょにしていくまち
- ・新しい住民が増えているまちであり、新旧住民や世代を超えて、「ふれあい・支えあい・助けあい」、いざという時にも強い大倉山をつくっていかう
- ・住民みんなが積極的に地域活動に参加して、健康で住み良い町づくりをしよう

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

東横線沿線の地区で地区内に大倉山駅があります。地区の西側は鶴見川に面し、北東側は大倉山公園や太尾見晴らしの丘公園等がある丘になっています。共同住宅に住む人の割合が多く70%を超えています。

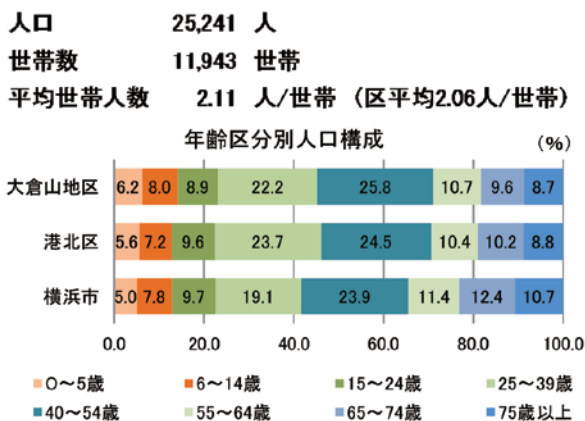
人口等の特徴

20歳代の転入増加や50歳代以上の転出が減少する傾向にあり、現在の年齢別人口の変化が続くと、人口や世帯数は引き続き緩やかに増加しますが、年齢の構成は大きく変化していきます。25～34歳の人口が徐々に多くなり、現在多い40歳代の人口は減少していきます。また50歳代以上にピークがない年齢構成なので、高齢者数は緩やかに増加していきます。

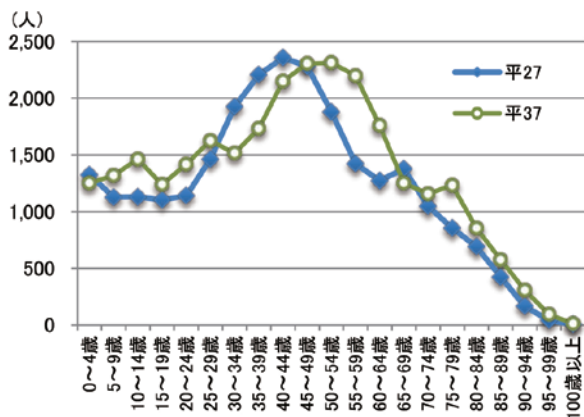
福祉保健活動の状況

各種の交流イベントや高齢者の見守りや家事支援、子育て支援、健康づくり、居場所やサロンの運営など多様な活動が展開されています。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

地区社会福祉協議会が中心となって、子育て支援・健康づくり・高齢者支援等6つの部会で活動し、支えあい祭り等の交流イベントを実施してきました。また、地域住民の交流を深めるため「大倉山夢まちづくり実行委員会」を設立し、町内会・商店街・地域の団体が一体となって健康で住み良い町づくりを進めています。

●地域の現状と課題

マンションの建設等で新しい住民が増えている地域です。世代を問わず、新旧住民の交流の活性化を図ります。

また、高齢者が年々増加の傾向にあり、高齢者への支援活動や元気づくりステーションをより充実し、健康で住み良い町づくりを目指していきます。

●今後の方向性

住民の意向を確認しながら部会活動を進めると共に、「大倉山鶴見川かわまちづくり計画」の太尾堤緑道の整備、地域住民交流の場づくり等、交流会の充実を図ります。

太尾ふれあいクラブ、高齢者部会、8シニアクラブ、大倉山元気づくりステーション等の更なる充実を図り、手厚い高齢者支援の推進及び見守り活動につなげていきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

大倉山地区ひっとプラン「あいの町大倉山」の進捗は月1回の推進会議で確認し、年1回振り返りを行います。

- ・代表：植木貞雄会長、飯山精三会長、畑野鎮雄会長、山田浩之商店街会長
- ・構成メンバー：連合町会・地区社協の役員及び理事、商店街役員、地域の各団体

◆ 具体的な取り組み

子育て中の方が安心して暮らせる、やさしい町づくりを進めると共に、子どもにとって健全な環境づくりを推進します

- 未就園児と親が参加できる「太尾っ子広場」を継続し、親子の交流の場として更に充実していきます。
- 青少年部会、学校、地域、防犯連絡協議会等と連携して、通学路や地域遊び場所の安全を見守ります。
- 太尾防犯拠点センター（みんなの居場所）において、定期的に防犯・防災講座、研修会を開催します。



誰もが健やかに安心して暮らせる環境づくりや、活動を推進します

- 太尾ふれあいクラブによる高齢者への家事支援の依頼件数が年々増加しており、それらの要望に応えるべく、きめ細かく活動していきます。
- 高齢者が気軽に参加できる、茶話会や福祉講話、趣味の活動、パソコン等で交流を図っていきます。
- 元気づくりステーションを太尾防犯拠点センター（みんなの居場所）、大綱中コミュニティハウスを中心に開催し、遠出できない方のために各町内会の会館に出張（巡回）し開催します。
- 障害児者への支援や地域での見守り活動を推進します。
- 災害時に備えた要援護者の地域での見守り支えあいの仕組みづくりを継続実施します。



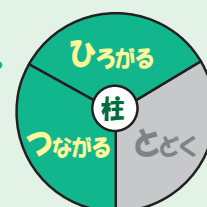
地域の団体が主催する交流活動に、協賛又は協働で活動します

- 地域子育て支援拠点どろっぷの開催する「どろっぷデー」等に町内会が協賛し、地域ぐるみで実施します。
- 商店街が開催する「七夕まつり、ハロウィン」等の地域を活性化する活動を協働して取り組んでいきます。



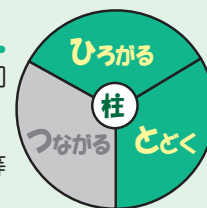
新旧住民及び世代を超えた地域住民の交流活動で地域の絆を強くします

- 多世代が参加できるウォーキング、グラウンドゴルフ、ペタンク等を通じて住民の交流を図ります。
- 「大倉山夢まちづくり」の活動で、桜木の植樹・さくらまつり・芸能イベント等を大倉山全町内会、商店街、地域の団体が一体となって開催し、住民の顔の見える関係づくりをします。
- 「大倉山鶴見川かわまちづくり」の活動に新たに取り組み、鶴見川周辺の緑道の整備や美化（緑化）を進め、住民の憩いの場とし、またノルディックウォーキングの開催等で健康づくりを促進していきます。今後、太尾堤緑道に季節の花木の植栽も検討していきます。



多くの住民が参加できるよう、地域の情報を発信します

- 地域の活動や行事の連絡は、各町内会を通して家庭への回覧・ちらし・掲示板等で周知します。
- 若い世代をはじめ、広く情報を発信する手段として、ホームページ・メール・ブログ等の活用を検討します。また広報紙での情報提供を行います。
- 外国人にも地域の情報が届くよう、大倉山便利マップの外国語併記を検討します。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



大倉山地区 地域活動の概要

<大倉山地区連合町会>

- ①. 健民祭
 - ②. シニアクラブ連合会
 - ・クラブ(8団体)毎の活動
 - 敬老会、茶話会、お花見、健康体操等
 - ・グラウンドゴルフ
 - ・友愛見守り活動
 - ・バス旅行
 - ③. 防犯連絡協議会
 - ・子ども110番の家
 - ・防犯研修会
 - ・防犯マップづくり
 - ・防犯キャンペーン
 - ・青パトによる巡回
 - ④. スポーツ推進委員協議会
 - ・ソフトボール大会
 - ・ソフトバレー大会
 - ・駅伝大会(走ろう会)
 - ⑤. 青少年指導員協議会
 - ・ペットボトルロケット大会
 - ・サマーデイキャンプ
 - ・防犯パトロール
 - ⑥. 太尾神社例大祭
 - ・演芸、神輿、山車
 - ⑦. 子どもと親の盆踊り
 - ⑧. 港北消防団太尾班
 - ⑨. 大綱中医療救護隊参集拠点
 - ⑩. 大綱小、太尾小地域防災拠点
- <消費生活推進委員会>
- ・研修&エコ製品づくり、等
- <保健活動推進委員会>
(元気づくりステーション)
- ・健康体操(はまちゃん体操)
 - ・ウォーキングの開催
- <環境事業推進委員会>
- <家庭防災員>
- <その他活動>
- ・太尾少年少女相撲大会
- <元気づくりステーション事業>
- ①地区社協が推進母体として実施(H25.4~)
 - ②ボランティア部会、保健活動推進員、高齢者部会、シニアクラブの活動の中で取り組んでいく
 - ③防犯拠点センターを中心に、各町内会館を利用

<港北区役所>

<大倉山地区民生委員児童委員協議会>

- ・災害時における要保護者の安否確認 — 見守り訪問
- ・75歳以上ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」(横浜市 H24~)

地域住民全般

高齢者

青少年

こども

障害者

- ・新旧住民の交流
- ・異世代間住民の交流

太尾防犯拠点センター
(みんなの居場所)

学校関係

学童保育
クラブ

子育て支援
施設

障害者施設

港北高校
大綱中学校
大綱小学校
太尾小学校

大綱中コミュニティハウス

太尾学童保育クラブ

大綱第二学童保育クラブ

地域子育て支援拠点
どろっぶ

大倉山アンカ幼保園
太尾保育園
おおくらやまえきま
のぞみ保育園

たんぽぽ保育園
くくおさんぽ保育園
大倉山
聖保園
森の樹保育園
アスク大倉山保育園
わおわお大倉山保育園
くくおさんぽ保育園らとわ

わーくす太尾
H&KARE作業所
K・すべーず

<地域福祉保健計画推進委員会>

港北区地域福祉保健計画推進事業 (H18.4~)
ひっとプラン地区別計画:「**あいの町大倉山**」

- ・地元を知ろう! 太尾健康ウォーキング
- ・大倉山支えあい祭り
- ・災害時における要保護者の見守り支えあい仕組みづくり
- ・太尾ITサロン
- ・大倉山便利マップの作成

<大倉山まちづくり>

- ①連合町会、商店街等が合同で立ち上げ(H22.6.24)
- ②大倉山記念館、梅林まわりの案内看板等の整備
- ③大倉山さくらまつりへ展開
 - ・H25:桜の植樹(横浜緑桜、しだれ桜 19本)
 - ・H26:さくらまつりとイベントの実施、植樹 31本
 - ・H27:さくらまつりとイベントの実施(太尾公園)

<港北区社会福祉協議会>

<大倉山地区社会福祉協議会>

<社協・部会活動の概略>

- ア. 高齢者部会
- ・一人暮らし高齢者のお茶とお話しの会
 - ・太尾フレンドサロン「いこい」
65歳以上高齢者世帯等対象のサロン
- イ. 青少年部会
- ・青少年環境健全化活動
- ウ. 子育て支援部会、太尾っ子広場
- <未就園児と保護者を対象にしたサロン>
- ・七夕飾りづくり、クリスマスリースづくり、親子でリズム体操、等 (年10回開催)
 - ・母親のための育児教育(幼児の靴着、救急処置)勉強の園、スタッフが幼児の保育を担当
- エ. 地域健康部会
- ・グラウンドゴルフ交流会(春・秋)
 - ・ペタンク交流会
 - ・ウォーキングの集い
- オ. ボランティア部会(元気づくりステーション)
- ・健康体操(転倒骨折予防体操等)
 - ・福祉講座(介護・認知症予防、口腔ケア等)
 - ・懐かしい歌の合唱等
 - ・障害者・施設に対する支援
- カ. 太尾ふれあいクラブ
(高齢者への家事支援、等)
- ・買い物、掃除、洗濯、草取り、枝払い、ゴミ出し、見守り・声かけ、パソコン指導、等
 - ・担い手の発掘、増員計画推進中
- キ. みんなの居場所での活動
- ・支えあい祭り、ウォーキング、ペタンク、グラウンドゴルフ、等
 - ・福祉相談、防犯相談、等
 - ・ボランティア活動(エコ畑、各種教室、等)
 - ・研修会、各種会議
 - ・どろっぶが、わーくす太尾、子ども連等が利用
- A. 学校関係の地域活動
- ・学家地連活動への参加
 - ・学援隊活動への参加
- B. 「3R夢ふれあいフェスタ」への協賛
- C. 地域子育て支援「どろっぶデー」への協力
- D. ケアプラザ「ワクワクまつり」への協賛
- E. 大倉山「おへそ」への協賛
- <大倉山鶴見川かわまちづくり>
- ①連合町会、商店街、地区社協が推進母体(H27.4~)
 - ②鶴見川を活用した健康な大倉山まちづくり
 - ・H27:太尾堤緑道の整備、美化(緑化)及び健康づくりノルディックウォーキングの実施

<大豆戸地域ケアプラザ>

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

大倉山地区社会福祉協議会

TEL 045-546-0664 FAX 045-546-0664

大豆戸地域ケアプラザ

TEL 045-432-4911 FAX 045-432-4912

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

わがまち篠原

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

安全で安心して暮らせるまち
 ひとりひとりが つくる 篠原
 子どもも大人も いきいき 篠原
 みんなで 声をかけあう 篠原

◇主な施設分布状況



- 区民利用施設
- 自治会・町内会館
- みんなの居場所
- 高齢者施設
- 障害児・者施設
- 子育て支援施設
- 地域防災拠点
- ⊕ 病院
- 文教厚生施設 (学校、福祉施設、寺社等)
- 公園
- 河川・水路
- バス路線・バス停
- 鉄道・駅

- 高齢者施設：①小規模多機能施設 ②グループホーム
 ③特別養護老人ホーム等の施設 ④有料老人ホーム
 障害児・者施設：①地域活動ホーム・生活支援センター
 ②障害者グループホーム ③障害者福祉サービス事業所等
 ④放課後等デイサービス
 子育て支援施設：①子育て支援拠点・親と子のつどいの広場
 ②保育園 ③幼稚園 ④放課後児童クラブ

◆ 地区の概況

地区の概況

区の南部に位置し、地区内には東急東横線の妙蓮寺駅、白楽駅、市営地下鉄ブルーラインの岸根公園駅があり、菊名駅や新横浜駅にも近い位置にあります。戸建て住宅に住む人の割合が約52%を占め区の平均（約38%）を上回っています。

人口等の特徴

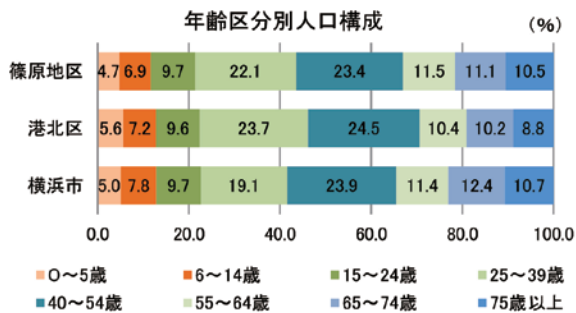
20歳代の転入が増加しており、全体として人口や世帯数は緩やかに増加する傾向が続いています。人口や世帯数は今後ほぼ安定した状態になりますが、現在人口が多い35～49歳が少しずつ減少しながら順次高齢化していきます。30～40歳代は減少していきます。

福祉保健活動の状況

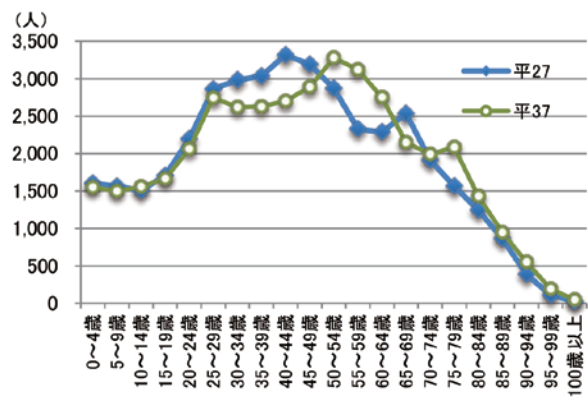
自治会ごとに開催するミニデイサービス、ボランティア相談、子育てサロンや公園遊びなど、古くから活発に福祉活動が行われてきました。ひとつプラン推進事業として新たに障がい児余暇支援事業、ホームページの運営も始められています。

人口、世帯数などの状況（平成27年9月末現在）

人口 **40,093 人**
 世帯数 **19,425 世帯**
 平均世帯人数 **2.06 人/世帯（区平均2.06人/世帯）**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

4つの分科会で活動を推進しました。

- ①交流分科会（障がい児余暇支援事業「とも・とも篠原」の実施）
- ②ボランティア分科会（男性や高校生ボランティアの発掘）
- ③安心安全分科会（災害時要援護者支援の仕組みづくりを自治会ごとに実施）
- ④ホームページ分科会（ホームページ「わがまち篠原」の立ち上げと運営）

●地域の現状と課題

山坂のある地形と高齢化から、閉じこもりがちの方が増えています。自治会ごとのミニデイサービスなど、福祉活動が多くあります。若い世代の担い手が少ないことが課題です。

●今後の方向性

地域で活動する団体の横のつながりづくりに力を入れて取り組みます。また、現在行っている事業の充実を図ります。

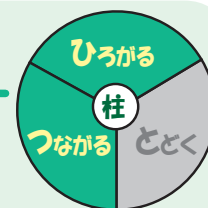
◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

- ・活動団体の連絡協議会を適宜開催し、推進状況を確認します。
- ・「わがまち篠原活動報告会」を年度末に開催し、当該年度を振り返り、次年度の取り組みにつなげます。

◆ 具体的な取り組み

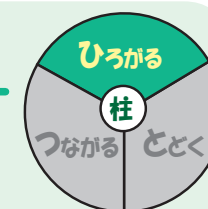
地域の活動団体同士が連携を深め、充実した活動を展開します

- 活動団体がそれぞれの活動を充実させていきます。
- 活動団体同士の連携を促進します。
 - ・ 活動団体連絡協議会を開催し、活動状況や課題の共有、より活動を発展していくための検討を行います。
 - ・ 子育てサークルと地域ミニデイの交流など、新たな連携を検討します。
 - ・ 自治会町内会と地区社会福祉協議会、老人会、子ども会などで一緒にできる企画を検討します。
 - ・ 地域ケアプラザ、地区センターとの連携を強化します。
- 学校と連携して子どもの安全を守る活動に取り組みます。
- 活動を通じて、担い手を育成します。



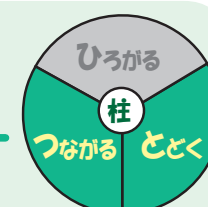
住民交流の活発な、いきいきとした地域づくりを行います

- より多くの住民に、地域活動の情報を発信します。
 - ・ 写真や動画、音声等を活用し、ホームページ「わがまち篠原」を充実します。
 - ・ 広報紙「地区社協しのはら」の発行を継続します。
- 地域活動を通して交流を深めます。
 - ・ 子育て世帯同士や、子育て世帯と地域が交流する場、機会を増やします。
 - ・ 自治会町内会行事や老人会、子ども会活動等の魅力を高め、多くの方へ参加を呼びかけます。
 - ・ 健康づくりや趣味の活動への参加を呼びかけ、交流のきっかけとします。
 - ・ 老人会、ミニデイサービスなど身近な交流の機会を継続、充実します。
 - ・ 閉じこもりがちな方への声かけを行います。



住民同士が顔の見える関係をつくり、地域で見守り支えあう風土づくりを進めます

- 隣近所で緩やかに見守り、支え合う地域づくりを進めます。
 - ・ あいさつ運動や世代間交流を進めます。
 - ・ いざという時に近隣で助けあうことの大切さについて意識を高めます。
 - ・ 自治会町内会と民生委員が連携した見守り活動を行います。
- 自治会町内会ごとに災害時要援護者支援の取り組みを進めます。
- 地域のボランティア「しのはら相談室」の活動を充実します。
- 認知症や障がいへの理解を深めます。
 - ・ 認知症サポーターの養成や、障がいがある方の地域活動への参加呼びかけを行います。
- 障がい児余暇支援「とも・とも篠原」の活動を継続、充実します。
- 地域包括支援センターと連携して、支援が必要な人の早期発見の仕組みを検討します。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



篠原地区

地域活動の概要

子育て・異世代交流分野

- * 子育てサロン・らっこ
- * しのはランド
- * 子ども会（10団体）

健康づくり分野

- * 元気づくりステーション
 - ・富士塚いこいの会
 - 元気づくりステーション
 - ・ゆっくり歩幸会
- * ウォーキング会

地域交流イベント

健民祭・親子スキー教室
グランドゴルフ大会
ペットボトルロケット大会
ユニホック大会・節分豆まき大会
駅伝大会

障がい児・者分野

- * コーヒーふれんどしのはら
- * とも・とも篠原

ボランティア分野

- * 篠原福祉ネットワーク
- * しのはら相談室

高齢者分野

- * ミニデイサービス（9グループ）
 - ・ひな菊（菊名南町）
 - ・いこいの会（富士塚）
 - ・いこいの集い（篠原東）
 - ・みちくさの会（仲手原）
 - ・夢クラブ（仲手原南）
 - ・お茶の間（篠原町）
 - ・西町のつどい（篠原西町）
 - ・みどりの会（篠原台町）
 - ・なごみの会（コーポラス、グリーンコーポ）
- * しのはら人生一服亭
- * 一人暮らし昼食会（4会場）
- * 老人クラブ（9団体）・友愛活動員

広報・啓発活動

- * ホームページ「わがまち篠原」
- * 広報誌「地区社協しのはら」

篠原地区連合自治会 篠原地区社会福祉協議会

民生委員児童委員・主任児童委員 保健活動推進員 スポーツ推進委員
青少年指導員 保護司 環境事業推進委員 消費生活推進員
港北消防団第二分団・第八分団第二班（女性） 家庭防災員

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

篠原地域ケアプラザ

TEL 045-423-1230 FAX 045-423-1257

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

たすけあうまち城郷

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

- 世代や立場を越えた交流が『ひろがるまち城郷』
- 担い手が広がり、活動が『つながるまち城郷』
- 助け合いや支援の輪が『とどくまち城郷』
- 必要な情報が伝わり、相談しやすい『安心のまち城郷』

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

新横浜の都心地区に隣接しており、地区内に JR 横浜線小机駅、市営地下鉄ブルーラインの岸根公園駅があります。地区の北側は鶴見川に接する平地で、新横浜公園や日産スタジアムがあり、農地も残っています。地区の南側は起伏のある丘で、樹林地が残る住宅市街地になっています。

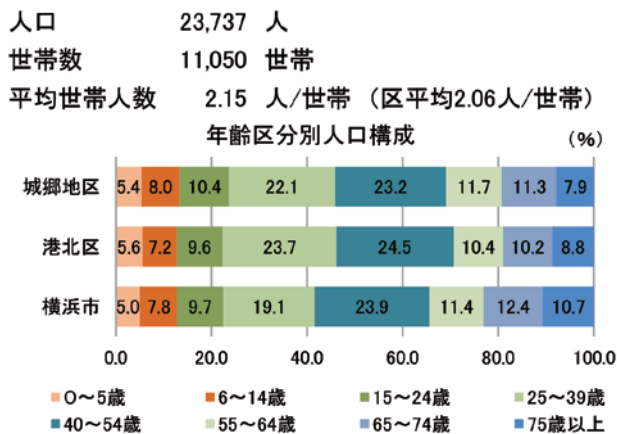
人口等の特徴

0 歳代が転入増加する傾向が続いており、30～49 歳が多い年齢構成になっています。平均世帯規模は区の平均を上回っています。今後とも、人口、世帯数は安定した状態が続きますが、65 歳以上の人口の増加や 14 歳以下の緩やかな減少などの変化が進みます。15～64 歳は人口減少が続き、比率も低下します。20 歳代の転入増加が続いているため、20～34 歳の年齢層が増加します。

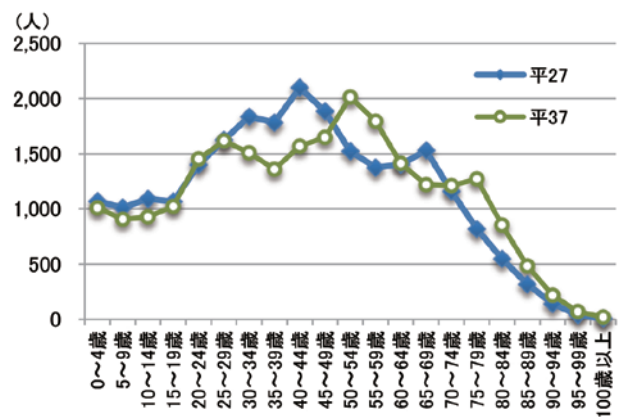
福祉保健活動の状況

家事等支援ボランティア、みんなの居場所の活用や運営支援、高齢者サロンや精神保健サロンの開催の他、発達障がい児の居場所事業、地区内の福祉保健活動のネットワーク化、見守り活動の定着化、担い手の確保などに取り組んでいます。

人口、世帯数などの状況 (平成 27 年 9 月末現在)



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

「誰もが安心して暮らせるまち城郷」の実現を目指し、高齢者サロン「城郷よってこ会」や障がいのある子どもを対象とした「しろさと地区放課後プラザ」の実施のほか、地域支えあい連絡会が中心となり、各自治会町内会の特色を生かした見守り活動の定着化を図りました。

また、地区ボランティア連絡会では、団体相互の交流と情報交換を密にするとともに、活動における問題解決や担い手育成に取り組みました。

あわせて、誰もが集える交流の場づくりとして、「ホッとカフェ」（みんなの居場所）の地域開放利用や、自治会町内会活動との連携強化を進めました。

●地域の現状と課題

農家や古くから住んでいる住民が多いエリアがある一方、住宅開発等で若い世代の増加も目立ち、新旧住民の交流や子育て支援が課題となっています。また、道幅の狭い道路や山坂も多く、後期高齢者や単身高齢者が増加傾向にある中、移動手段の確保に困難を抱える住民も増えています。

●今後の方向性

これまでの実績を踏まえ、地域活動への理解促進と、より多くの方が活動に参加できる環境づくりを進めます。また、各町内会館やホッとカフェ（みんなの居場所）等の地域資源を活用し、子どもから高齢者まで誰もが気軽に集える場づくりに取り組み、住民同士の「顔の見える関係づくり」を推進します。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

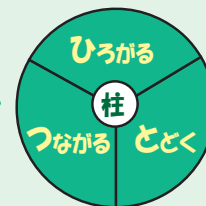
地区連合町内会、地区社会福祉協議会をはじめ、地区ボランティア連絡会・地区民生委員児童委員協議会・地域支えあい連絡会等により「たすけあうまち城郷」推進委員会を構成します。

推進委員会は定期的に開催し、年度ごとに振り返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証します。

◆ 具体的な取り組み

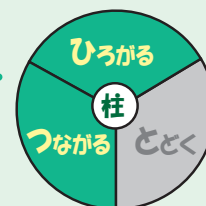
地域住民が互いに交流を深め、「顔の見える関係づくり」を進めるとともに、誰もが安心して健やかに暮らせるまちを目指します

- 各町内会館や地域ケアプラザ、「ホッとカフェ」（みんなの居場所）などの地域資源を活かし、子どもから高齢者まで誰もが気軽に集える場づくりを進めます。
- 「ホッとカフェ」（みんなの居場所）への地域支援に、引き続き取り組みます。
- より多くの方が地域活動に参加できるよう、コミュニティバス等移動手段の検討を進めます。
- 保健活動推進員や地域で活動する各団体との連携を図り、体操や交流等を通じて介護予防、認知症予防と健康増進に取り組みます。



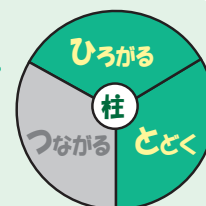
子育て中の世代が安心して暮らせるまちづくりを推進します

- 各町内会館等で行う子育てサロンの開催頻度を増やし、子育て中の親子が集まり、交流を深められるしくみづくりを進めます。
- 気軽に立ち寄り相談できるよう、常設のサロンづくりについて検討を進めます。
- 「しろさと地区放課後プラザ」の活動を継続して実施します。



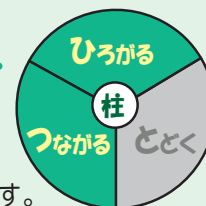
地域住民が安心して暮らせるまちを目指します

- 孤独死や空き家が増えていることを踏まえ、地域支えあい連絡会を中心に、防犯パトロールなど日常における見守り活動の充実を図ります。
- 各自治会町内会や民生委員児童委員協議会等の連携により、災害時要援護者支援事業に対する取り組みを進めます。
- 地区内の小学生を対象とした、高齢者を理解する講演会を継続実施し、啓発を行います。



5年後、10年後を見据え、地域活動の核となる人材を確保します

- 「城郷ふれあいの会」等、既存の活動においてもボランティアが不足している現状を踏まえ、地区ボランティア連絡会を中心にボランティアの育成に取り組みます。
- 活動の幅がより広がるよう、男性にも担い手として加わってもらえるしくみを検討します。
- 将来の活動の担い手となることを見据え、若い世代へのボランティア活動に対する理解啓発を進め、人材の育成に取り組みます。



必要な人に必要な情報が伝わり、相談しやすい環境づくりを進めます

- 地域活動への理解を広めるため、自治会町内会活動との連携をさらに強化し、イベントカレンダー等の作成に取り組みます。
- 地域福祉保健活動のネットワーク化を推進します。
- 掲示板や回覧だけではなく、インターネット等も活用して必要な人に必要な情報が届くしくみを検討します。

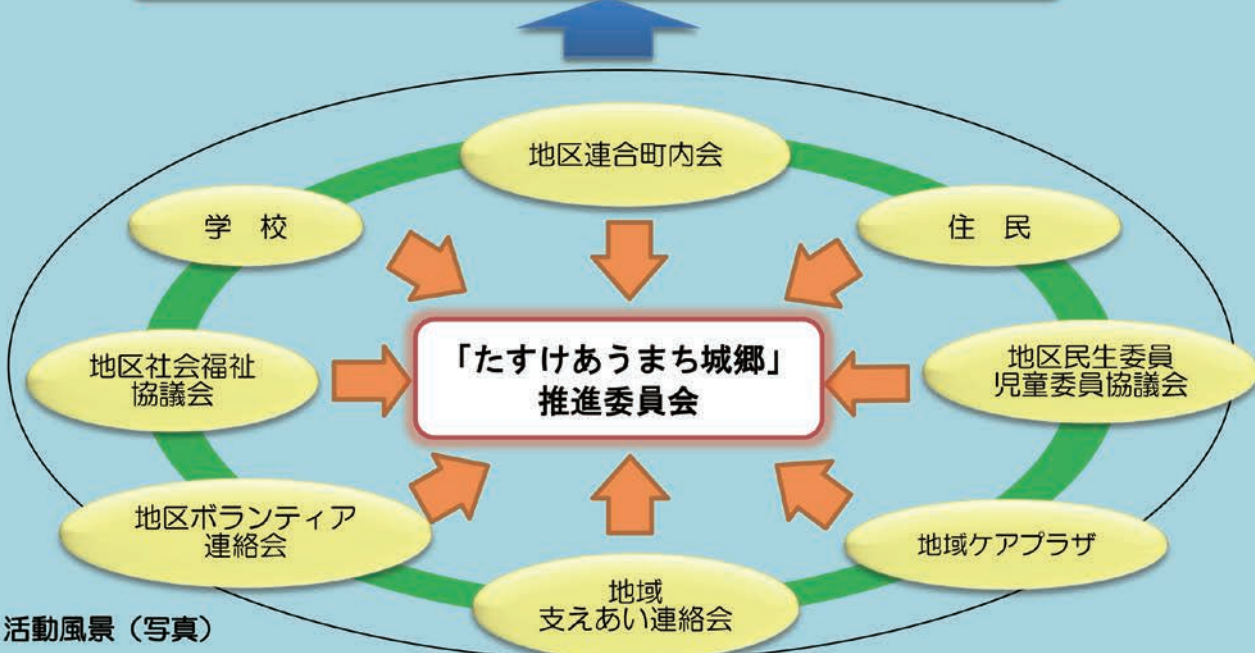


「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



【計画推進体制】

「誰もが安心して暮らせるまち城郷の実現」



活動風景（写真）



地区ボランティア連絡会



小学生向け見守り講演会



小机城址まつり



城郷ふれあいの会の活動



城郷よってこ会
(ミニよってこ会)



子育てサロン



しろさと地区放課後プラザ

◆ホットカフェ（みんなの居場所）

所在地：小机町 2468 番地
電話：045-473-6300

※ホットカフェ内に地区社協事務所
を設置、運営しています



● 地区の活動に関する問い合わせ ●

城郷地区社会福祉協議会（ホットカフェ内）

TEL 045-473-6300 FAX 045-473-6300

城郷小机地域ケアプラザ

TEL 045-478-1133 FAX 045-478-1155

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

「和・輪・話」のまち につば

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

絆のまち につば

高齢者が楽しく元気に活動できるまちにしよう
 住んでいる人どうし、支え合うまちにしよう
 一人ひとりが地域のことに興味を持つまちにしよう
 子どもが大人になっても住み続けたいまちにしよう
 お互いにあいさつをし、みんなで明るく安心できるまちにしよう



◆ 地区の概況

地区の概況

市営地下鉄ブルーライン沿線の、住宅と倉庫・工場などが混在した地区です。地区の西側の丘は市街化調整区域になっており、地区の東側と南側は鶴見川に面しています。共同住宅に住む人が70%近くを占めています。地区内に新羽駅、北新横浜駅があり、また、現在工事が進められている高速横浜環状北線の出入口ができる予定です。

人口等の特徴

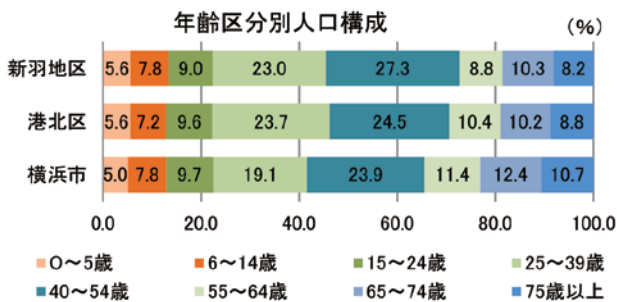
20歳代を中心に、若い方の転入が増える傾向にあります。一方、割合は少ないものの、高齢の単身世帯や高齢の夫婦のみの世帯は増加しています。人口、世帯数は今後も緩やかに増加し、特に30歳代の人口は一度減少した後、再び増加することが予想されます。

福祉保健活動の状況

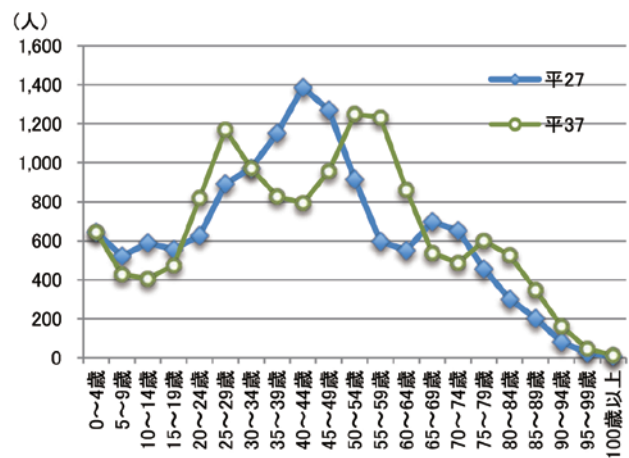
年間通じて多くの行事が開催されています。平成26年に新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウスが完成し、様々な活動が行われています。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)

人口 **13,103 人**
 世帯数 **6,323 世帯**
 平均世帯人数 **2.07 人/世帯 (区平均2.06人/世帯)**



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

町への理解を深め、町を愛してもらう活動や、住民同士の交流に力を入れて取り組んできました。

●地域の現状と課題

学校と地域の密接な関係が築かれています。様々な地域の行事が活発に行われていますが、新たな担い手の発掘が課題です。

●今後の方向性

現在行っている地域活動を充実し、団体同士の連携を深めながら、「子どもと地域のつながりづくり」「健康づくり活動への取り組み」「住民交流」「見守り、支えあい」「情報発信」の5つの柱に沿って取り組みを進めます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

連合町内会や地区社会福祉協議会、行政からの委嘱委員、福祉活動団体などの代表者で構成する地区計画推進委員会を開催し、計画の進ちょく状況の確認や今後の取り組みについての検討を行います。

◆ 具体的な取り組み

地域ぐるみで子どもを育み、子どもたちのふるさとづくりを進めます

- 地域行事を通じて異世代交流を活発に行い、子どもと地域のつながりを深めます。
- 自治会町内会と学校、PTA が連携し、子どもが参画する地域活動を検討します。
 - ・「明るく美しいまちづくり」事業を進めます。
 - ・子ども会の活動を充実します。
- 子育てを地域で支えます。
 - ・「たんぼぼにっば」の活動を充実し、また、子育てに関わる人材を育成します。
 - ・赤ちゃん会や「たんぼぼにっば」などを通して、子育て世帯と地域のつながりをつくります。
 - ・保育園や幼稚園と連携した子育て支援を検討します。



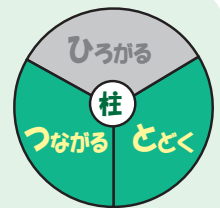
新羽の自然や歴史を活用した健康づくりの取り組みを進めます

- 健康づくりや介護予防につながる活動への参加者を増やし、地域を活性化します。
 - ・保健活動推進員が主催するウォーキングなどのPRを行います。
- ウォーキングを町ぐるみで盛り上げます。
 - ・「新羽地区見どころウォーキングMAP」を活用します。
 - ・季節ごとのウォーキングマップ作成を検討します。
- 健康づくり活動をサポートする「パワーアップにっば」の活動を継続します。



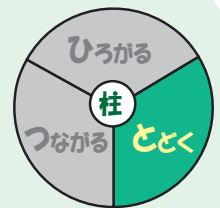
身近な場所で気軽に行ける、交流の場を増やします

- 気軽に行くことができる場や機会を増やし、自宅に閉じこもりがちな方の参加を呼びかけます。
 - ・男性の地域参加のきっかけづくりとして、「男の料理教室」を開催します。
 - ・地域包括支援センターと協働でサロンを開催します。
- 地区内に多くある福祉施設（グループホームなど）を活用した交流の場づくりを検討します。



支援が必要な人を緩やかに見守り、支える仕組みをつくります

- 高齢者や障がい者などへの理解を深める活動を進めます。
 - ・認知症サポーター養成講座を開催します。
 - ・行事等において、高齢者施設や障がい者施設との連携の機会を増やします。
- 地域でできる見守り、支えあいの取り組みを進めます。
 - ・自治会町内会と民生委員等が連携し、災害時要援護者支援の取り組みを進めます。
 - ・要援護者の把握、見守りについて地域包括支援センターとの連携を強化します。
 - ・「ボランティア竹の子にっば」の活動を周知し、また、担い手を増やしていきます。



地域活動の魅力を多くの住民に伝え、参加を促します

- 地域活動の情報をきめ細かに発信します。
 - ・「イベントカレンダー」の発行を継続、充実します。
 - ・紙媒体だけでなく、電子媒体（フェイスブック、ツイッター）も利用して情報を発信します。
 - ・地域で活動する団体同士が、互いの取り組みに関する情報を共有します。
- 地域ケアプラザ・コミュニティハウスと連携し、地域活動に参加する人材発掘を進めます。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



新羽地区計画推進の輪

私たちが住む新羽町を、笑顔いっぱいの住みよい町にするために、
たくさんの団体やグループ、個人が活動しています

子ども

たんぼぼにつば
子ども会
餅つき大会
相撲大会
新羽小土曜塾

健康づくり

パワーアップにつば
ペタンク
グランドゴルフ
ウォーキング

交流

合同敬老の集い
健民祭
サマーフェスティバル
老人会
ガッツにつば
活動団体懇談会

情報

イベントカレンダー
「ふくしの和」
「社協ニュース」
「地域ケアプラザ・
コミュニティハウスつうしん」

見守り・支えあい

竹の子につば
民生委員による訪問
災害時要援護者支援

新羽町連合町内会

南町内会、中之久保町内会、大竹町内会
中央町内会、新羽町自治会、新羽町町内会
北新羽町内会、クリオ新横浜北自治会

新羽地区社会福祉協議会

新羽地区民生委員・児童委員協議会

関係機関

新羽小学校、新田小学校、
新羽中学校、新羽高等学校
新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス

関係団体

連合子ども会、連合老人会
スポーツ推進委員、青少年指導員
保健活動推進員、環境事業推進委員
家庭防災員、明るい選挙推進員、消費生活推進員

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

新羽地域ケアプラザ

TEL 045-542-7207 FAX 045-531-7011

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

いしな!

みんなのまち 新吉田

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

地域とのつながりを大切に
 みんなが手をつなぐまち 新吉田
 ～支えあい 明るく安心して暮らせるまち～
 ～世代間の交流 話し合いができるまち～
 ～なかよく健康にすごせるまち～

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

区の中央部にあり地区の東側・北側を早渕川、南側を鶴見川に接し、地区の東側は戸建てが多く、南側は集合住宅、事業所、商業施設等が混在し、北側、西側は起伏のある丘陵地で市街化調整区域であり、住宅、事業所、農地、樹林地が混在しています。

人口等の特徴

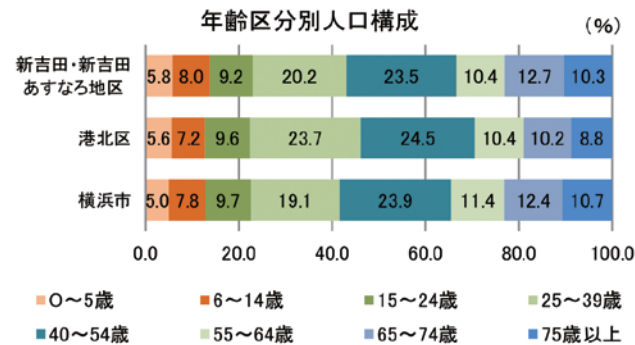
現在、35～49歳が多い年齢構成であり、平均世帯人員は区の平均を上回っています。居住歴が長い人が多く、高齢者の比率が区や市の平均を上回っています。今後は現在人口の多い40～44歳を中心とした世代が徐々に減少し、また、65～69歳前後の世代も、死亡等により徐々に減少していきます。一方20歳代の転入増加傾向が続いているため、25～34歳が増加します。高齢者の増加は今後も続きます。（*人口、世帯数のデータは新吉田あすなろ地区と共通です）。

福祉保健活動の状況

新吉田連合町内会、新吉田地区社会福祉協議会が中心になっている他、ボランティア団体の「ほっと新吉田」「もみじの会」等が協働し、地区の福祉保健活動に積極的に取り組んでいます。災害時要援護者の支援、高齢者への支援、子育て支援等の活動を幅広く先駆的に行っています。

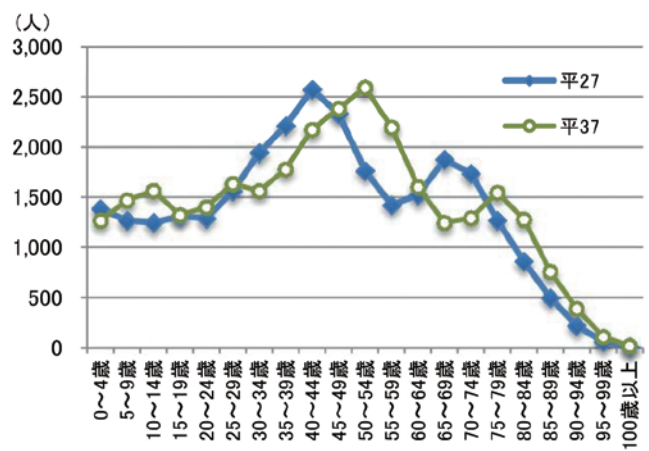
人口、世帯数などの状況（平成27年9月末現在）

人口 28,357 人
 世帯数 12,654 世帯
 平均世帯人数 2.24 人/世帯（区平均2.06人/世帯）



（※人口、世帯数のデータは新吉田あすなろ地区と共通です）

年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

「災害時要援護者の支援」「高齢者への支援」「子育て世帯への支援」を3つの柱として取り組み、要援護者名簿とマップの作成、認知症徘徊高齢者見守りネットワーク「さがしてネット」の実施、未就園児子育てサロン「よしだっこ」の開設とそれぞれに効果を上げ、また、地域の多様なイベントもあわせ、顔と顔がつながる活動を進めてきました。

●地域の現状と課題

住民の高齢化が進み、単身者の増加もあり、支援が必要な高齢者が増えることが予想されます。一方で若年世帯、子育ての世代の転入も続き、地域との繋がりづくりが必要です。さまざまな活動や行事も活発ですが、担い手の高齢化や男性が少ないこと、今まであまり参加していない人たちがいかに地区に関わってもらうかなどが課題です。

●今後の方向性

今まで取り組んできた3つの柱の活動をさらに拡充していくとともに、「健康づくり」を新たに加え4本の柱とし、「健康づくり部会」「高齢者支援部会」「子育て支援部会」「要援護者支援部会」の4部会が中心となり、誰もが皆いきいきと暮らせるように展開していきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

町内会・自治会と地区社会福祉協議会、地域福祉活動団体の代表者で構成、年2回以上、推進委員会を開催し、推進状況の確認や1年ごとの振り返りを行います。

◆ 具体的な取り組み

誰でも参加できる健康づくりの活動を推進します

- 住民の健康寿命を伸ばすことを啓発します。
- 介護予防や健康づくりの体操教室を支援し推奨します。
- ウォーキングの推奨、ウォークラリー大会等の支援を行います。
- ラジオ体操の奨励、運動会やペタンク大会、グラウンドゴルフ大会等の場を活用して体力向上の啓発、普及を図ります。
- 普段地域の活動へ参加していない人の参加を促進するため、広報の充実等を行います。



高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを進めます

- 「さがしてネット*」の取り組みを充実します。
 - ・ 認知症の啓発活動を行います。
 - ・ 認知症徘徊高齢者を発見する模擬訓練を周辺地域とともに実施します。
- 老人クラブ等の活動支援や高齢者が参加しやすい活動（例：手芸や趣味の会等）を支援し、推奨します。
 - * 「さがしてネット」とは、認知症の理解を広げ、高齢者の徘徊を早期に発見する支えあいのネットワークです。



安心して子育てができるように支援します

- 未就園児子育てサロン「よしだっこ」の運営を継続し充実を図ります。
 - ・ 必要な方に「よしだっこ」の情報が届く広報を目指します。
 - ・ 企画や運営に関わる方を増やす工夫を行います。
- 親子で参加できる「ふれあい動物園」や、もみじの会「収穫体験」等の活動を継続し、多世代交流の機会をつくります。
- 子ども会、小学校、中学校と地域が連携し、福祉教育の充実を図り、子どもと地域のつながりを深めます。



支援が必要な人を地域で支える取り組みをします

- 災害時要援護者支援を充実します。
 - ・ 要援護者の把握に努め、安否確認の方法や体制作りを進めます。
 - ・ 日頃の挨拶の励行、隣近所の助け合いや日常の見守り行動など、「共助」を目指した住民意識の向上に取り組めます。
- 小学生、中学生が防災体験活動を通じて、地域の中で見守り支えあうことの理解を進めます。
- 困りごとを気軽に相談できる、地域の支えあいボランティア「ほっと新吉田」の活動を継続し、より充実するよう取り組みます。
- 誰でも利用ができるボランティアセンター「やすらぎの家」の効果的な活用を図ります。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



新吉田地区の活動

【子育て支援】

未就園子育てサロン



よしだっこ

毎月第2木曜日
10時～11時30分
中央町内会館にて開催中

「よしだっこ」

親子コンサート

ふれあい動物園



ふれあい動物園

【高齢者への支援】

地域のみなさんで徘徊らしい人を見かけた時は、このプレートがかかっている拠点へ連絡してください

「さがしてネット」

「徘徊かな？」と思ったら～
さがしてネット
～徘徊高齢者連絡所～



登録はこちらから

【災害時要援護者支援】

調査作成した「**支え合いカード**」の内容を、自治会町内会を中心に、再度点検しました。

また、登録情報を、いざという時に活かせるよう、要援護者マップを作成しました。



もみじの会・収穫体験

【健康づくり】

健康維持の意識の高い

新吉田地区では、各自治会町内会を中心に健康づくり活動に取り組んでいます。

☆町内会館が会場☆

- ▶みんなのサロン
- ▶元気な笑顔
- ▶さわやか北部
- ▶ひばり会
- ▶なでしこ会
- ▶さわやか体操

☆地区センターが会場☆

- ▶新田クラブ
- ▶シルバー体操新吉田
- ▶さわやかクラブ
- ▶さわやか虹

☆ケアプラザが会場☆

- ▶健身会
- ▶ふきのとう
- ▶すみれ会

「老人会」

ゲートボール、手芸、趣味の会などを開催しています。

- 寿会（新吉田中央町内会/新吉田第二町内会）
- さくら会（本町町内会）
- 老親会（北部町内会）
- さつきクラブ（東町会）
- 新吉田おもと会（新吉田町会）
- 若松会（吉住会）
- 新生シニアクラブ（新生町内会）
- ときわクラブ（西部町内会）
- きらく会（南町会）

ほっと新吉田

～ご利用案内～

新吉田地域の高齢者、障害のある方、「困りごと」に“手”をお貸します。
申込み・お問合せ；祝日を除く月・水・金10時～15時
◆「やすらぎの家」 ☎/FAX 045-591-6480
◆「ほっと新吉田」 電話 080-5408-9228
080-6602-7809

港北区ボランティアセンター

やすらぎの家

～あなたの空いている時間を誰かの為に使いませんか～

「ボランティアを求めている人」「ボランティアをしたい人」からの相談窓口として橋渡しをします。
また、地域の様々な活動交流の場としても活躍しています。
☎/FAX：045-591-6480
開館日：月・水・金 10：00～15：00

「やすらぎの家」は新吉田地区社会福祉協議会と港北区社会福祉協議会協働で運営を行っています。

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

新吉田地区社会福祉協議会

TEL 045-591-6480 FAX 045-591-6480

新吉田地域ケアプラザ

TEL 045-592-2151 FAX 045-592-0105

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

明るく 楽しく 支えあう ヒューマンネットワーク あすなろ

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

みんながコミュニケーションをとれるまち あすなろ

- ・ こどもも大人も安心して安全に生活できる、活力あるまち
- ・ 誰もが困っている人に手を差し伸べられるまち
- ・ みんなが交流を深め、まちづくりに参加するまち

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

区の中央部にあり地区の東側・北側を早瀬川、南側を鶴見川に接している住宅地です。戸建て住宅が多くなっています。

人口等の特徴

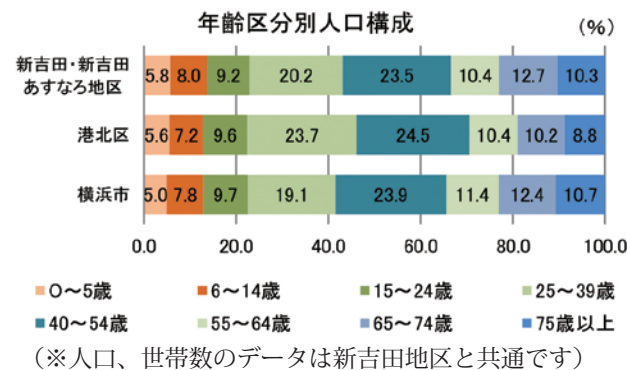
現在、35～49歳が多い年齢構成になっています。平均世帯人員は区の平均を上回っています。居住歴が長い人が多く、高齢者の比率が区や市の平均を上回っています。今後の見通しは50歳以上の年齢層が転出し減少する傾向があるため、現在人口の多い40～44歳を中心とした世代は、徐々に減少してきます。また、65～69歳前後の世代も、死亡等により徐々に減少していきます。一方20歳代の転入増加傾向が続いているため、25～34歳が増加します。高齢者の増加は今後とも続きます。（*人口、世帯数のデータは新吉田地区と共通です）。

福祉保健活動の状況

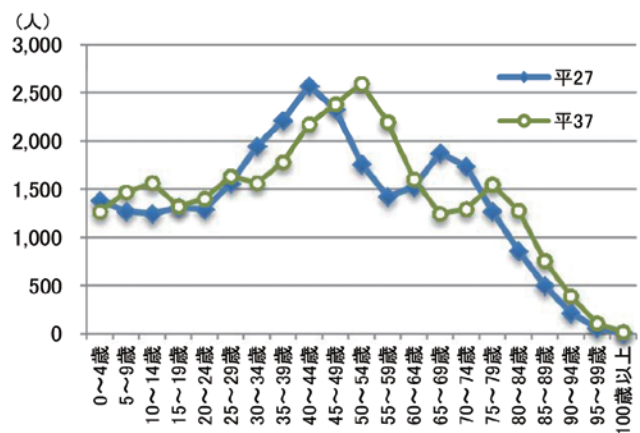
徘徊する高齢者を早期に保護する活動の他、盆踊り大会、防災訓練、ふれあい運動会など地域住民の交流、子育てサロン、一人ぐらし高齢者サロンや健康づくりなどの活動をしています。

人口、世帯数などの状況（平成27年9月末現在）

人口 28,357 人
世帯数 12,654 世帯
平均世帯人数 2.24 人/世帯（区平均2.06人/世帯）



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

「納涼福祉盆踊り大会」「防災訓練」「ふれあい運動会」という「あすなる地区3大イベント」の取り組みを長年、継続、充実し、交流を活発にしてきました。高齢者支援については、認知症の徘徊高齢者をできるだけ早期に発見し、事故なく保護する活動「さがしてネット」に取り組み、隣接の新吉田地区へもこの活動を展開することができました。

●地域の現状と課題

- ・高齢者率が高く、単身者の増加もあり、支援が必要な高齢者が増えることが予想されます。
- ・アパート、マンションも増え、若い世代の転入が増加傾向にあり、地域との繋がりが課題です。
- ・地域で行っている活動が十分に知られていない現状があります。

●今後の方向性

現在の活動を充実しつつ「支援が必要な人への理解、地域での見守り」「健康づくりなどの活動を通じた住民交流」「災害に備えた取り組み」の三つの柱に沿った取り組みを進めます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

町内会や地区社会福祉協議会、福祉活動団体等の代表者で構成する推進委員会を定期的開催し、事業の実施や推進状況の確認を行います。また、必要に応じて部会を設置します。

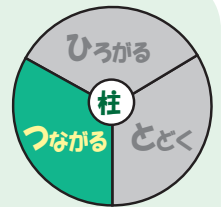
◆ 具体的な取り組み

より多くの人々が支援が必要な人への理解を深め、地域での見守りにつなげます



- 「さがしてネット*」の活動を充実させます。
 - ・メール配信の浸透状況の把握や、登録者同士の顔の見える関係づくりを行います。
 - ・対象者（障がい児者）や地区の拡大を行います。
 - ・メール配信システムを活用し、認知症の啓発を行います。
 - ・防災訓練やお祭りの機会を利用して「さがしてネット」のより一層の周知、登録者同士の関係づくりを行います。
 - 学校と連携し次世代育成に向けた取り組みを進めます。
 - ・小・中学生を対象とした認知症講座を開催し、認知症サポーターを養成します。
- * 「さがしてネット」とは、認知症の理解を広げ、高齢者の徘徊を早期に発見する支えあいのネットワークです。

健康づくりなどの様々な活動を通し、住民同士の交流を進めます



- 健康づくりの活動やサロンの活動を充実させます。
 - ・より多くの人に参加してもらえるような仕組みづくりを行います。
 - ・サロンの数を増やすとともに、サロン同士のつながりや交流の機会を創出します。
 - ・「元気づくりステーションあすなろ」「楽しい健康体操サロン」「気軽な会」「このゆびと～まれ」などを充実します。
 - より多くの機会をつくり、若い世代の地域活動への理解や参加、異世代交流につなげます。
 - ・子ども会との連携や交流を充実します。
 - ・「あすなろさわやかスポーツ*」を充実します。
- * 「あすなろさわやかスポーツ」とは、年齢性別を問わず誰もが気軽に楽しめる、ソフトバレーやグラウンドゴルフなどのさまざまな生涯スポーツを行い、健康づくりや仲間づくりを行う活動です。

災害に備えた取組を充実させます



- 災害時要援護者支援の取り組みを進めます。
 - ・災害時により多くの人々が助かるためには何をすべきかを地域で考え共有します。
 - ・敬老の日の訪問活動等、既存の様々な機会を活かした要援護者と顔を合わせる活動の充実をはかります。
 - ・名簿をもとに民生委員とも連携しながら訪問等を行い、要援護者を把握します。
 - ・要援護者と近所の人の日頃からのつながりづくりを行います。
- 防災訓練を通じた啓発活動を行います。
 - ・訓練に障がい児者・高齢者が参加することで、支援を必要としている人への理解をひろげます。

「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



納涼福祉盆踊り大会



＜交流活動＞
納涼福祉盆踊り大会
ふれあい運動会
総合防災訓練など

＜保健・スポーツ推進活動＞
健康測定会
ベタンク大会
グランドゴルフ大会など
あすなろさわやかスポーツ

ふれあい大運動会



＜子育て支援活動＞
子育てサロン このゆびと～まれ
赤ちゃん会
正月餅つき大会
登下校時子ども見守り活動など

＜研修・学習活動＞
施設見学・研修会
福祉講座
ニーズに適応した啓発研修

新吉田
あすなろ
地区の活動

＜福祉保健活動＞
さがしてネット
(拠点との情報交換等を含む)
グループホームあすなろ
への支援

＜高齢者支援活動＞
楽しいシルバー健康体操サロン
高齢者サロン
民生委員による一人暮らし高齢者
などの見守り

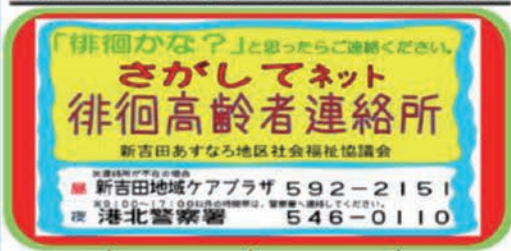
＜環境事業推進 美化活動＞
3R夢ワゴン(ゴミ分別研修)
古紙・古布資源回収 など

＜募金活動＞
年末たすけあい
社協賛助会費

＜防災・防犯活動＞
防火・防犯パトロール
防災備蓄庫点検
防災会議

＜広報活動＞
「あすなろだより」
発行

ケアプラザにご連絡くださると連絡拠点に「さがして依頼シート」を一斉FAXをします。



さがしてネット連絡拠点にはこのステッカーが貼ってあります。
さがしてネットメール配信始めました。

「さがしてネット」
のQRコード



メール配信の
登録は
こちらから



防災訓練



● 地区の活動に関する問い合わせ ●

新吉田地域ケアプラザ

TEL 045-592-2151 FAX 045-592-0105

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

みんなが笑顔 助け合いのまち高田

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

- ・ おたがいさまの気持ちでひろげる助け合い
- ・ 同世代の交流や世代間の交流を進め、
いっそう活気のあるまちにしよう
- ・ 思いやりと支えあいの心で、気軽に地域活動に参加してみよう

◇主な施設分布状況



- 区民利用施設
- 自治会・町内会館
- みんなの居場所
- 高齢者施設
- 障害児・者施設
- 子育て支援施設
- 地域防災拠点
- ⊕ 病院
- 文教厚生施設 (学校、福祉施設、寺社等)

- 公園
- 河川・水路
- 〇— バス路線・バス停
- 〇— 鉄道・駅

- 高齢者施設：
- ① 小規模多機能施設
 - ② グループホーム
 - ③ 特別養護老人ホーム等の施設
 - ④ 有料老人ホーム
- 障害児・者施設：
- ① 地域活動ホーム・生活支援センター
 - ② 障害者グループホーム
 - ③ 障害者福祉サービス事業所等
 - ④ 放課後等デイサービス
- 子育て支援施設：
- ① 子育て支援拠点・親と子のつどいの広場
 - ② 保育園
 - ③ 幼稚園
 - ④ 放課後児童クラブ

◆ 地区の概況

地区の概況

区の北西部にあり、地区の北側の一部は市街化調整区域になっています。居住者の約60%は戸建住宅に住んでいます。市営地下鉄グリーンラインの高田駅があり、また、宮内新横浜線の整備が計画されていることから、交通の利便性が向上することが予想されます。

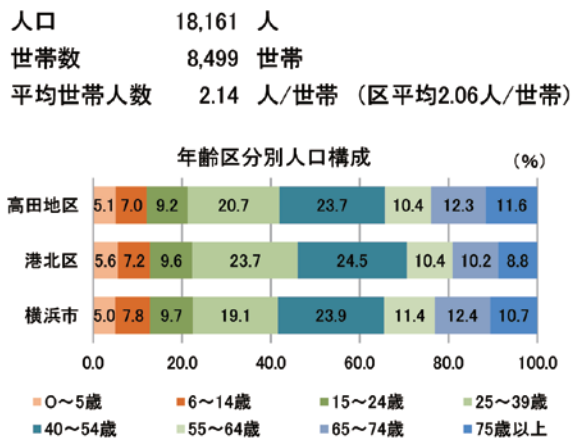
人口等の特徴

地下鉄グリーンライン開通後は人口の緩やかな増加傾向が見られます。20歳代の転入が増加していますが、一方で居住歴が長い人が多く、高齢者の比率も高くなっています。平均世帯人数は少なくなっていますが、区の平均を上回る状態が続いています。人口、世帯数とも今後はほぼ安定した状態になりますが、順次高齢化していきます。

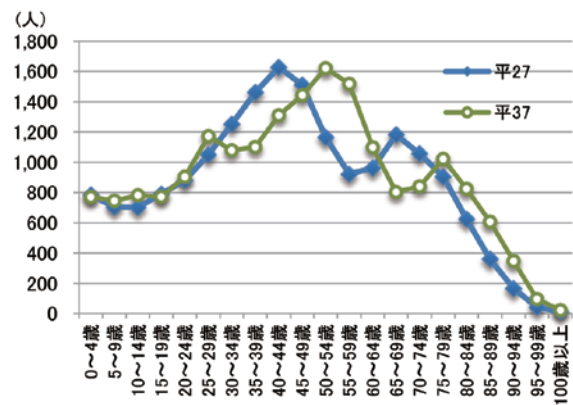
福祉保健活動の状況

各町内会で災害時要援護者支援に取り組んでいます。地区内に高田地域ケアプラザがあり、様々な福祉保健活動の拠点となっている他、親と子のつどいの広場「たかたんのおうち」があります。

人口、世帯数などの状況 (平成27年9月末現在)



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

● 今までの取り組み

自治会町内会ごとに災害時要援護者への対策に取り組み、その取り組みを通じて隣近所のつながりを目指しました。

● 地域の現状と課題

一人暮らしの高齢者が増えてきています。若い方は増えていますが、地域の活動への参加は活発ではありません。活動の拠点となる場所が少ないことが課題です。

● 今後の方向性

高田町連合町内会と高田地区社会福祉協議会は、お互いの活動を充実し、連携を深めていきます。災害時要援護者支援の取り組みや、地域で活動している団体の顔の見える関係づくり、子育てに関わる人や施設のネットワークづくりなど、民生委員、地域ケアプラザとも協力して進めていきます。

◆ 計画策定の経過

自治会町内会や行政からの委嘱委員、地区社会福祉協議会、地域で福祉活動を行う団体から意見を聞き、策定委員会で計画としてまとめました。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

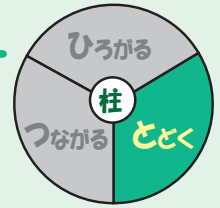
高田町連合町内会、高田地区社会福祉協議会、各活動団体などが計画に基づいて推進します。

「ひっとプラン役員会」において今後の方向性を検討し、年2回開催する「ひっとプラン推進委員会」で情報共有と確認を行います。

◆ 具体的な取り組み

支援が必要な人を把握し、日頃から見守っていきます

- 自治会町内会ごとに災害時に要援護者を支援する仕組みをつくります。
 - ・ 災害時要援護者の名簿やマップを作成し、定期的に内容を確認します。
 - ・ 自治会町内会と民生委員が要援護者に関して定期的に情報交換します。
 - ・ 防災拠点訓練等にあわせて要援護者の安否確認を行います。
- 隣近所の緩やかな見守り、支え合いがあるまちづくりを進めます。
 - ・ 自治会町内会と民生委員等が連携して見守り活動を行います。
 - ・ いざというときに隣近所で助け合う意識を高めます。



地域活動への参加と交流を通じて顔の見える関係づくりを進めます

- 行事や活動への参加を促します。
 - ・ ホームページや広報紙、口コミで活動の魅力を伝えます。
 - ・ 高齢者と若い方、子どもたちが一緒になって楽しめるイベントを検討します。
- 地域活動の担い手を育てます。
- 住民同士が交流できる場をつくります。
 - ・ 住民の誰もが気軽に集えるサロンや居場所の活動を継続、充実します。
 - ・ 「ふらっと高田」「たかたんのうち」を活用します。
 - ・ ウォーキングや趣味活動を通じて仲間づくりを行います。



支援を必要としている人を、地域のネットワークで支えます

- 地域の福祉活動団体がそれぞれの活動を充実していきます。
- 活動団体同士が顔の見える関係をつくります。
 - ・ 活動団体同士や福祉施設が、情報共有や課題検討する場をつくります。
 - ・ 自治会町内会と委嘱団体が連携してまちの活動に取り組みます。
- 高齢者や障がい者等への理解を深めます。
 - ・ 住民に向けて啓発講座を実施します。
 - ・ 高齢者や障がい者が集えるサロンなどの活動を通じて交流を深めます。
- 地域ケアプラザ（地域包括支援センター）と連携し、住み慣れた地域で暮らし続けられる仕組みづくりに取り組みます。



子どもたちと地域のつながりを深め、町ぐるみで子育てを支えます

- 子育てを支援し、また、子育て中の方に地域とつながる重要性の理解を促します。
 - ・ 子育て世帯同士や、子育て世帯と地域の交流を充実し、顔の見える関係をつくります。
 - ・ 子育てサロンや保育園などを通して、子育て世代の方に地域の情報を伝えます。
 - ・ 地域の幼稚園や保育園と連携して子育て支援を行います。
- 地域と学校が連携し、子どもと地域のつながりをつくります。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



高田地区ネットワーク

高田町連合町内会

高田町内会・高田中央町内会・高田町親和会
高田東町会・高田町住宅自治会・高田町住宅親交会
自治会しらさか・高田西原自治会

防犯・防災活動や住民相互の親睦、町の環境整備に取り組んでいます。ひっとプランでは自治会町内会ごとに災害時要援護者支援に取り組み、要援護者の把握や、日常的な見守り活動を行っています。

地震災害に備えて、地域防災拠点の訓練に積極的に参加しましょう

高田地区社会福祉協議会

高齢者、子ども、障がい者の方々とその活動団体の声を聞く機会を設けるなど、地域の福祉活動団体同士のネットワークづくりを行っています。



民生委員児童委員協議会

地域において住民の立場に立って、赤ちゃんから高齢者まで世代を問わず相談に応じています。また必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役も担っています。
75歳以上ひとり暮らし見守り訪問事業や高齢サロン・障がい児者支援・子育て支援事業などにも参加しています。

高田消防団

災害発生時の消火活動、救助、避難誘導などの他、防災訓練等での啓発活動を行っています。

家庭防災員

地域防災の担い手として活躍するため、研修を受け、活動をしています。

消費生活推進員

消費生活に関する情報の啓発や調査活動を行っています。

スポーツ推進委員 連絡協議会

地域のスポーツ振興を目的に、大運動会・港北区駅伝大会をはじめ子どもからお年よりまでが楽しめるスポーツでベタンク大会・グラウンドゴルフ大会等を開催しスポーツ普及・育成活動を推進し、健全な町作りに取り組んでいます。

保健活動推進委員会

地域における健康づくりの推進役として、各種研修を受け、ウォーキングや健康測定会などの活動をしています。禁煙おすすめ隊の啓発活動もを行っています。

明るい選挙 推進協議会

選挙に関する啓発活動を行っています。

青少年指導員協議会

「青少年の健全な育成」を願い、パトロールやあいさつ運動、ペットボトルロケット製作講習会、夏休みバスツアー等を行っています。

環境事業 推進委員

ゴミの分別排出の啓発や、地域の美化活動に取り組んでいます。

高田地域ケアプラザ



高田地区キャラクター たかたん

子育てネットワーク

親と子のつどいの広場
「たかたんのおうち」

高田小学校
高田東小学校
高田中学校

みんなの居場所
「ふらっと高田」

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

高田地区社会福祉協議会

TEL 045-543-5561 FAX 045-543-5561

高田地域ケアプラザ

TEL 045-594-3601 FAX 045-594-3605

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp